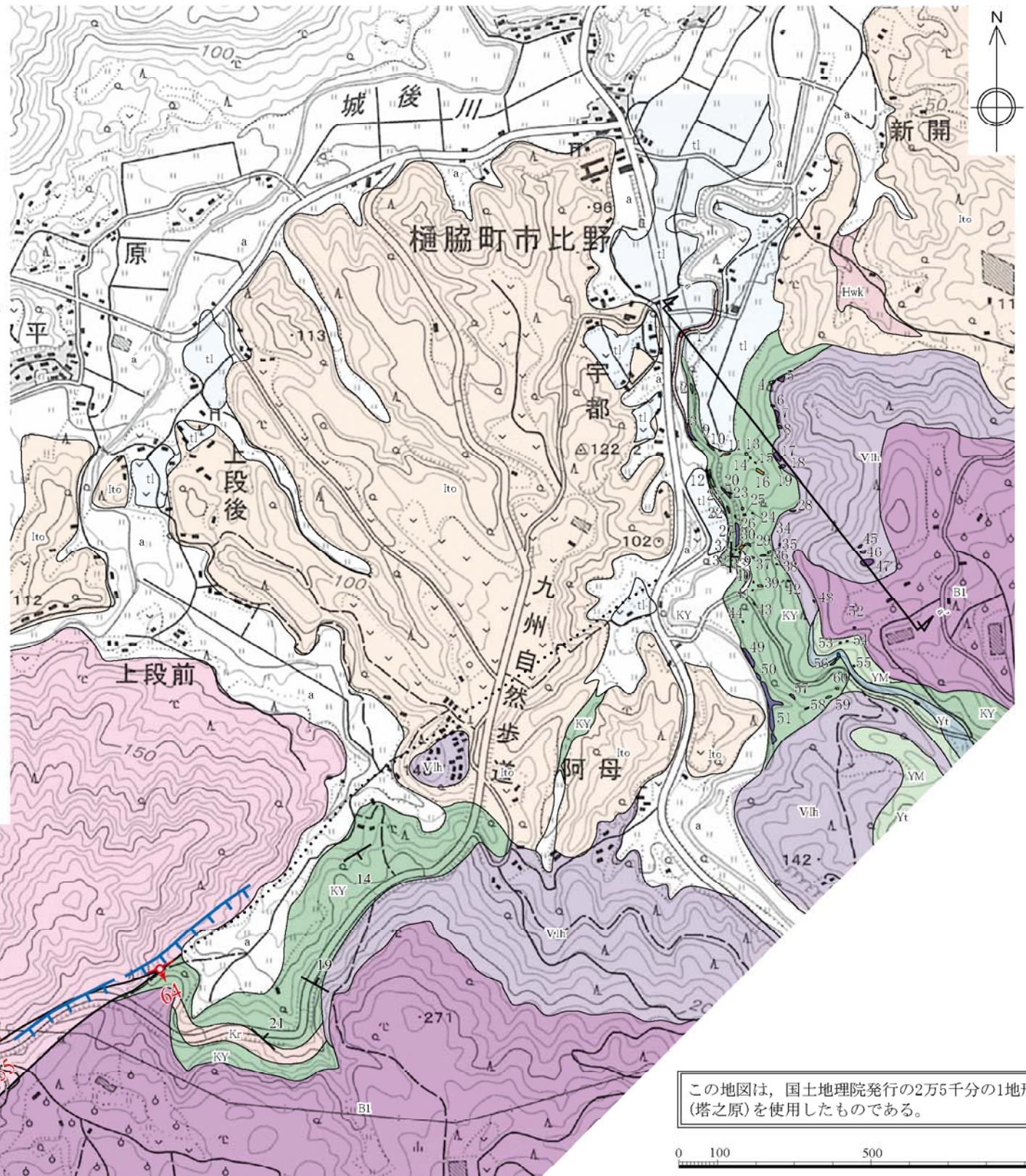
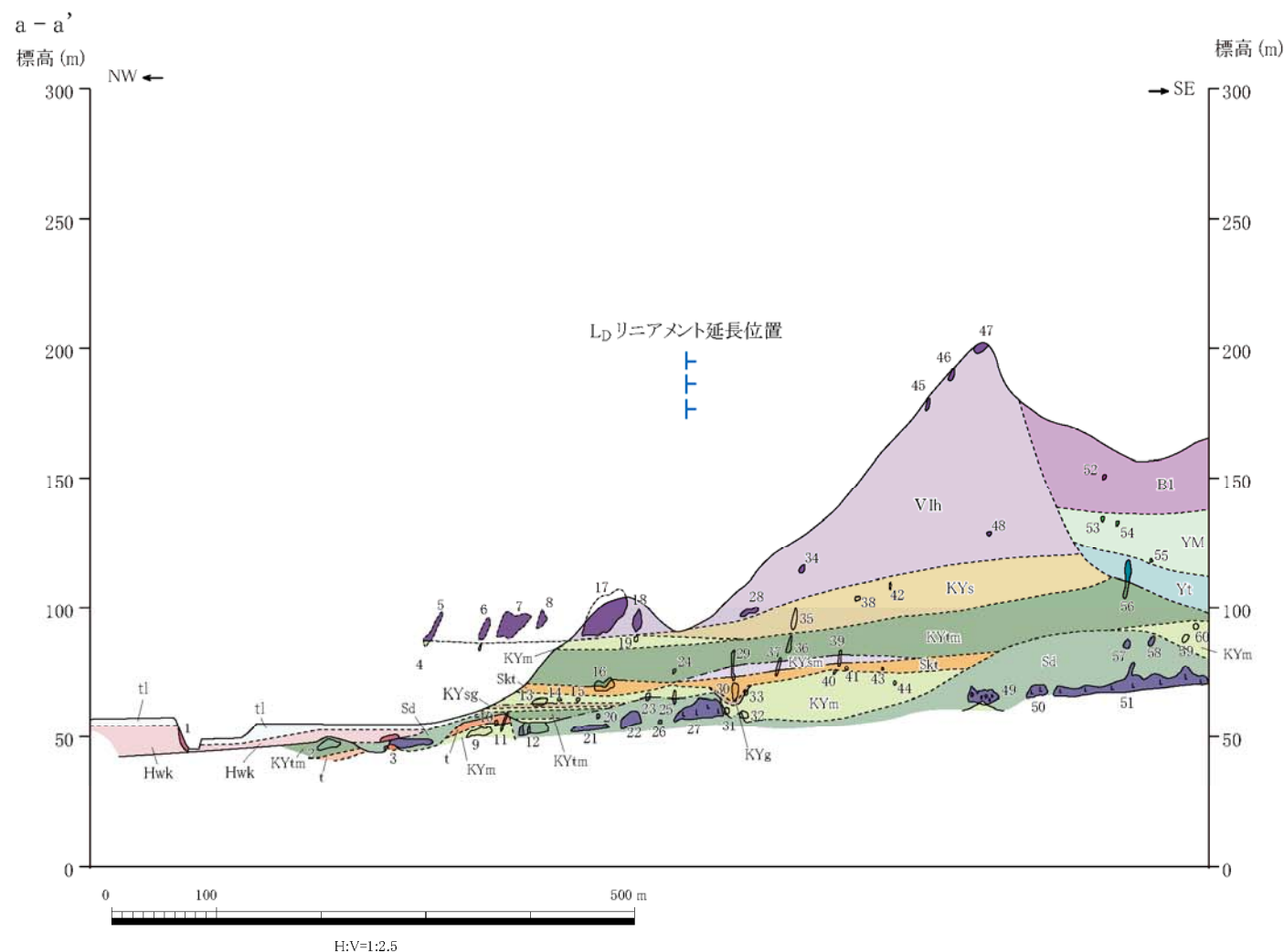
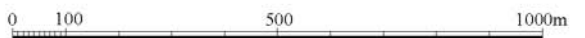


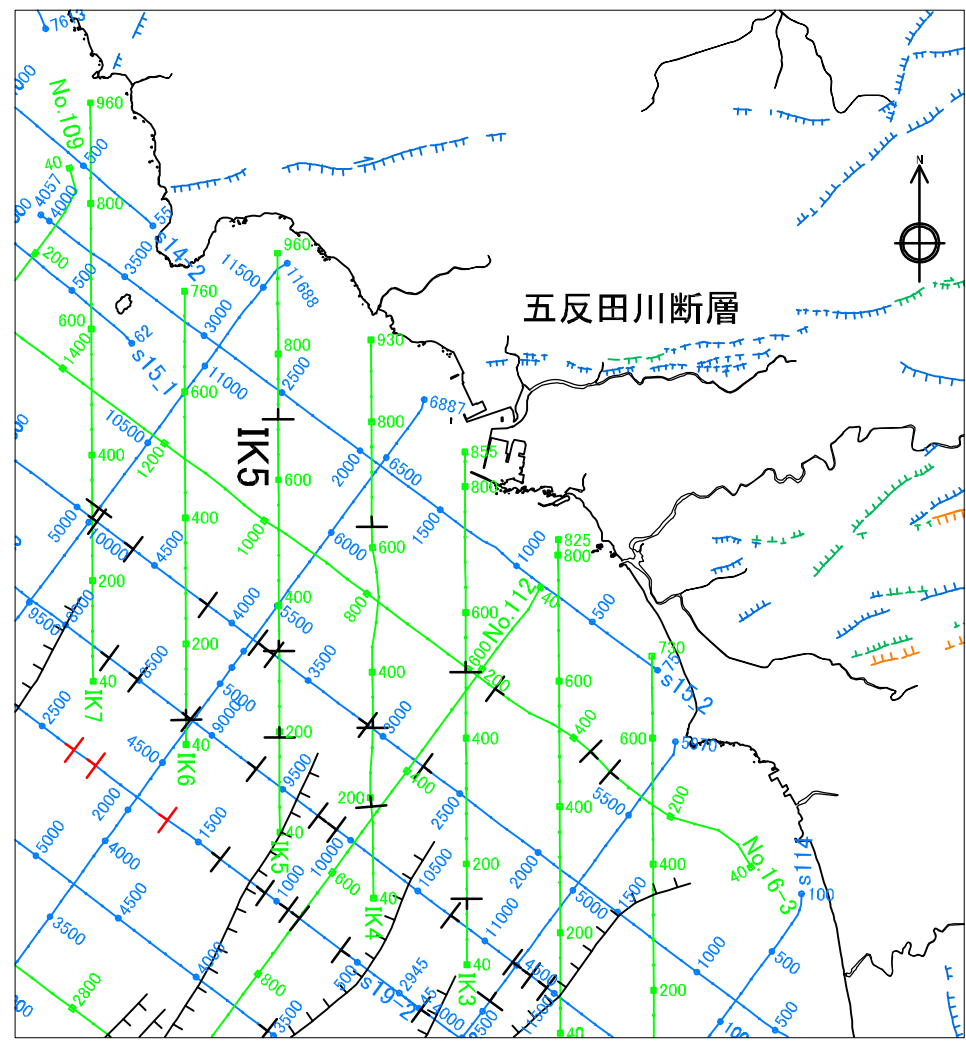
- 凡例
- a 沖積層
 - tl 低位段丘堆積物
 - lto 入戸火砕流堆積物
 - Hwk 樋脇火砕流堆積物
 - B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
 - Yt 八重山火砕流堆積物
 - YM 山之口層
 - Vlh 市比野玄武岩質火砕岩類 北薩火山岩類V
 - KY 郡山層
 - Kr 倉野火砕流堆積物
 - Ak2 溶結凝灰岩 阿久根2火砕流堆積物
 - Kb 久保野火砕流堆積物
 - IIpx 輝石安山岩溶岩 北薩火山岩類II
- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 断層面の走向・傾斜
- 層理面の走向・傾斜
- 露頭位置及び露頭番号
(露頭の凡例は断面図凡例を参照)
- 地質断面位置
- リニアメント凡例
- L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原)を使用したものである。



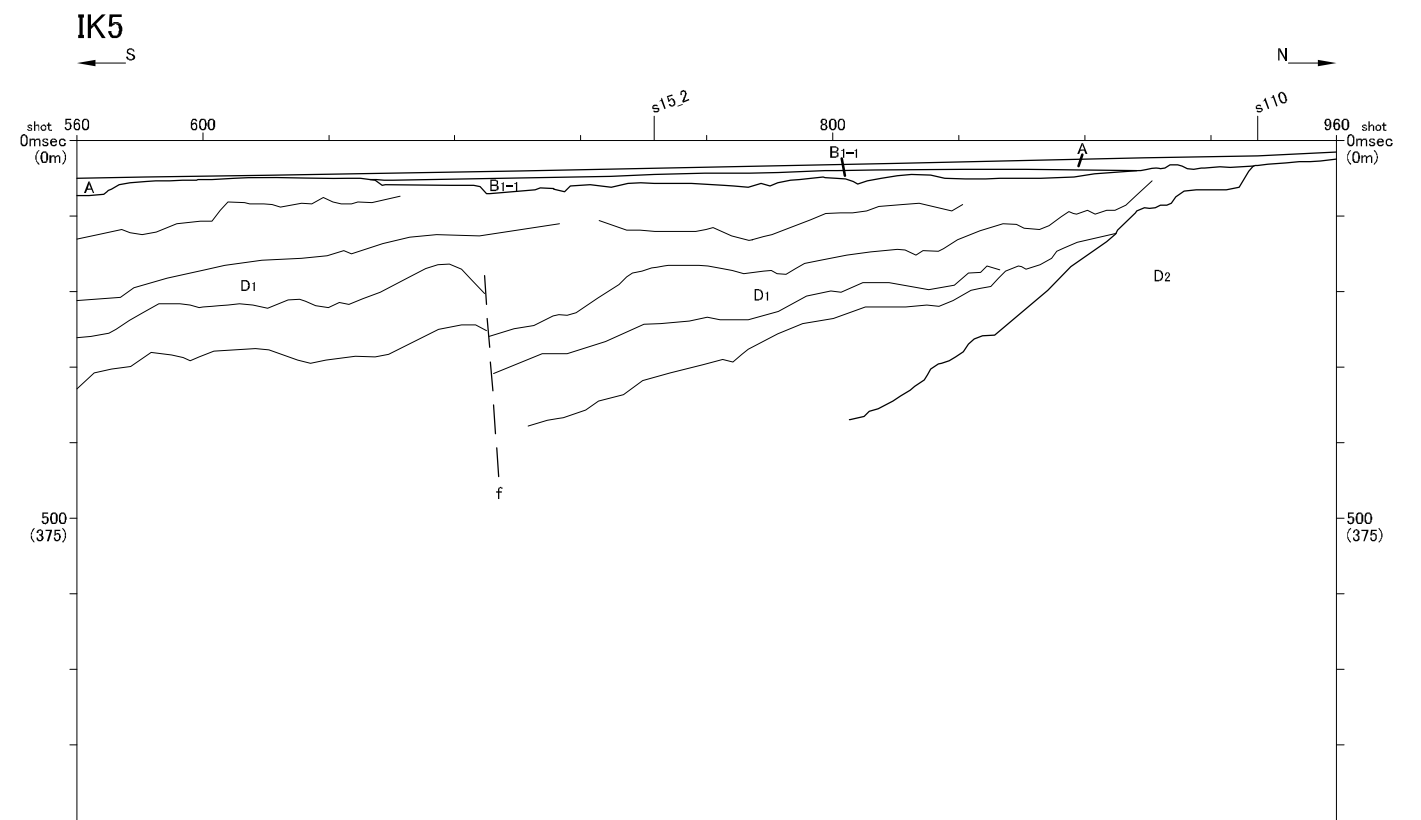
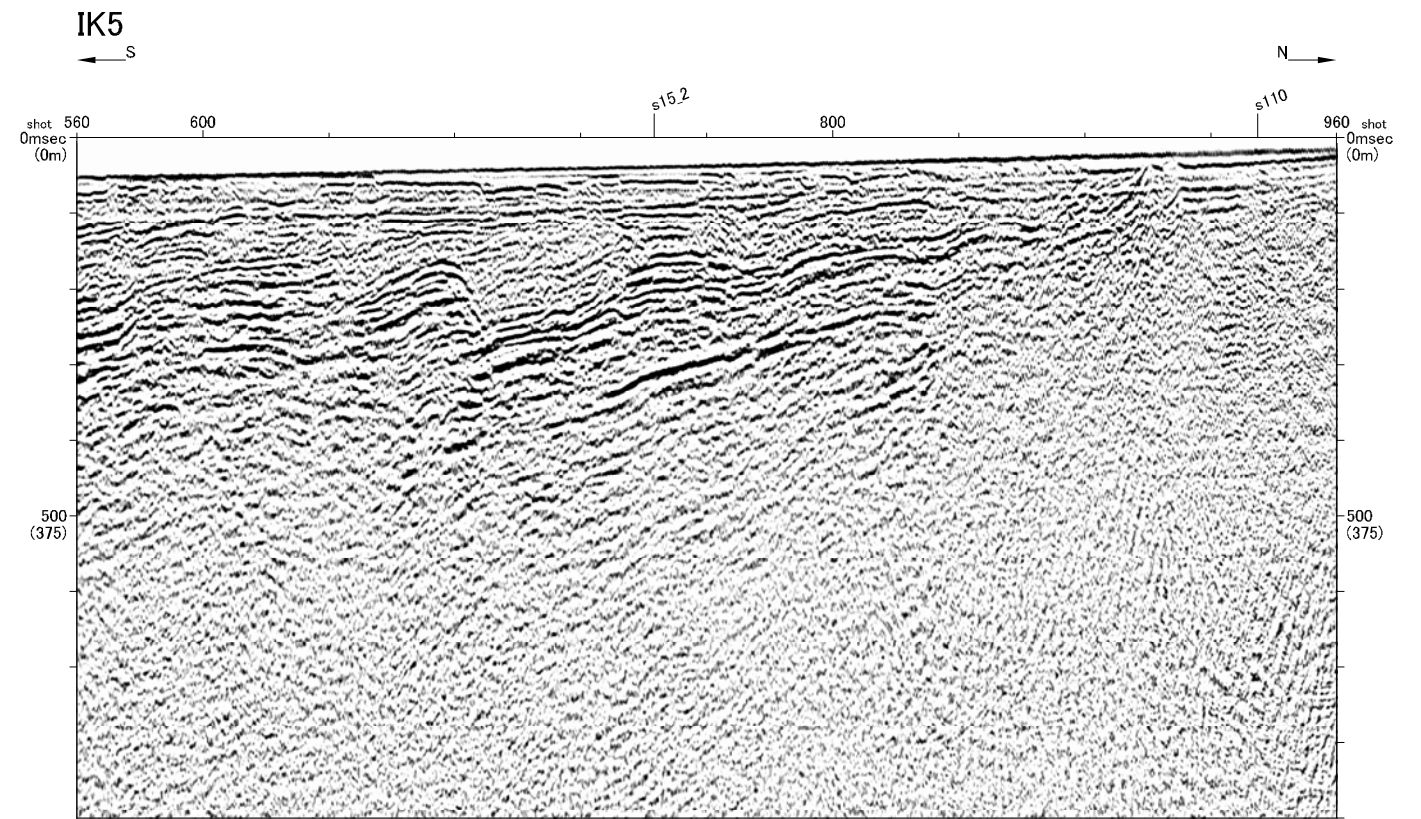
- 凡例
- tl 低位段丘堆積物
 - Hwk 樋脇火砕流堆積物
 - B1 川内玄武岩
 - YM 山之口層
 - Yt 八重山火砕流堆積物
 - Vlh 市比野玄武岩質火砕岩類
 - KYs 中粒砂岩
 - KYtm 凝灰質泥岩
 - KYm 砂質泥岩～泥質砂岩
 - KYsm 軽石質砂岩・泥岩互層
 - Skt 新開火砕流堆積物
 - KYsg 泥岩・砂岩・礫岩互層
 - KYg 礫岩
 - t 火砕流堆積物
 - Sd スランプ堆積物
 - Sd スランプ堆積物中の安山岩ブロック
 - ¹³ 露頭位置・番号
- 郡山層



五反田川断層位置図

凡 例

- | | | | |
|--|--|--|-----------------------|
| | 連続性のある断層 | | L _B リニアメント |
| | 連続性のある伏在断層 | | L _C リニアメント |
| | 連続性のない断層 | | L _D リニアメント |
| | 連続性のない伏在断層 | | |
| | 九州電力(株)によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン) | | |
| | 九州電力(株)によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ) | | |

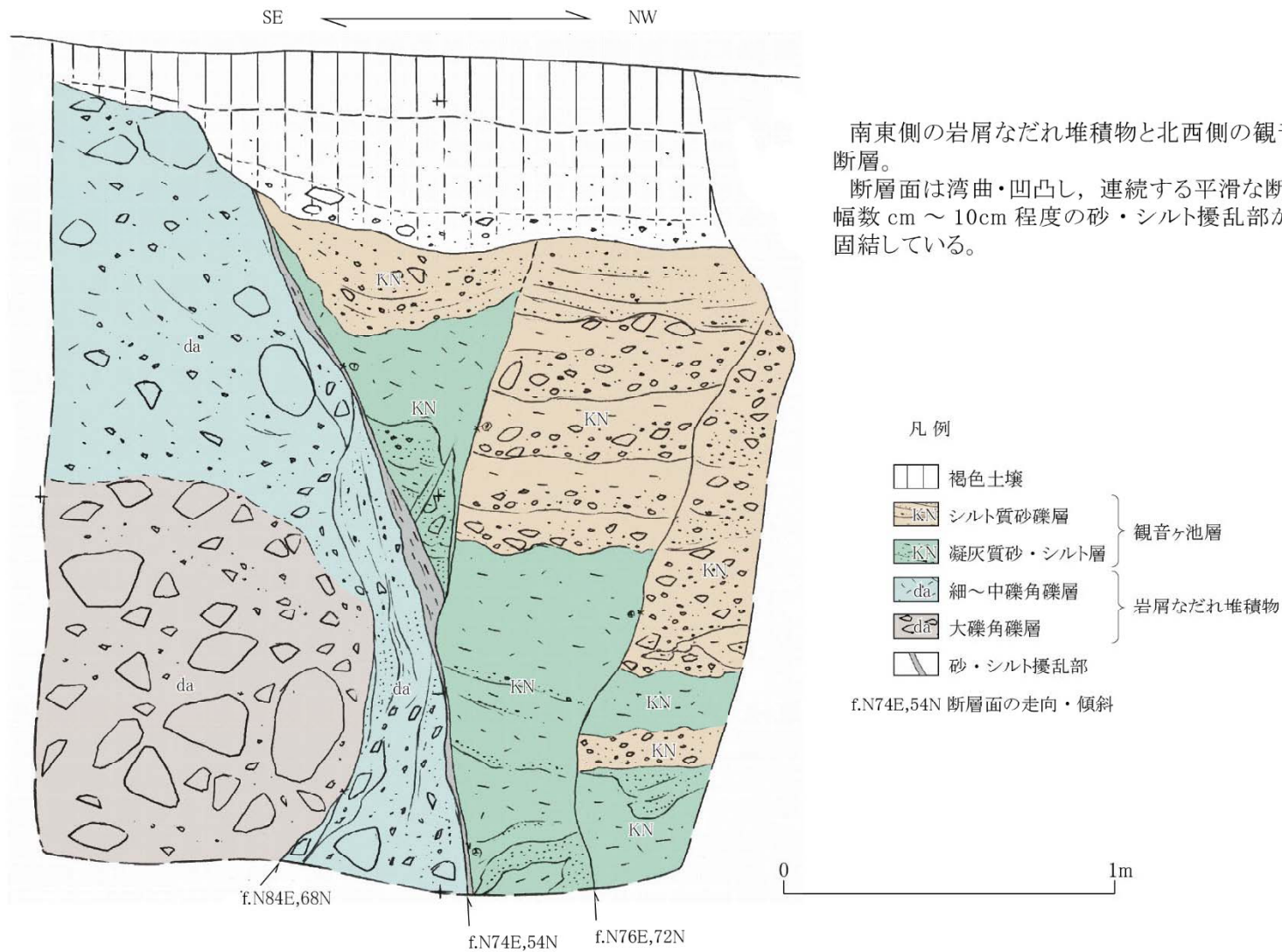


音波探査記録断面図

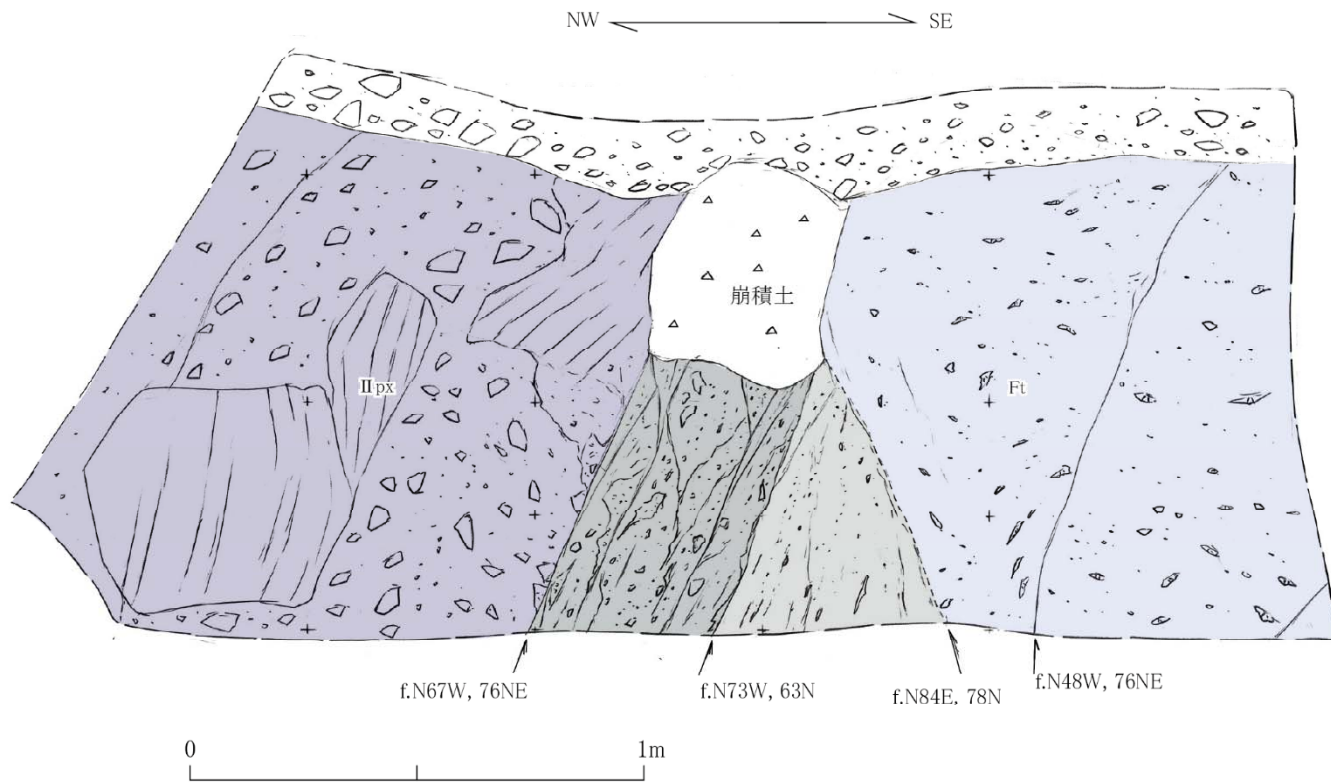
- 凡 例
- | | | | |
|------|-------------|--|--------------------------------|
| A | 後期更新世～更新世 | | 地層境界 |
| B1-1 | 後期更新世 | | 実線: 連続性のある断層
破線: 連続性のある伏在断層 |
| B1-2 | 中期～後期更新世 | | 実線: 連続性のない断層
破線: 連続性のない伏在断層 |
| B2-1 | 中期更新世 | | |
| B2-2 | 中期更新世 | | |
| B3 | 前期更新世 | | |
| C | 中期更新世～前期更新世 | | |
| D1 | 中期更新世～前期更新世 | | |
| V | 後期中新世～前期中新世 | | |
| D2 | 後期中新世～前期中新世 | | |
| E | ジュラ紀～前期中新世 | | |
- 90° 60° 30° 0°

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(鹿児島)を編集したものである。

第1.2-81図 五反田川断層海域延長部(IK5測線)



第1.2-82図(1) 露頭スケッチ (Loc.Ik-1, いちき串木野市観音ヶ池西方)



北西側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と南東側の二俣川火砕流堆積物とを境する正断層。

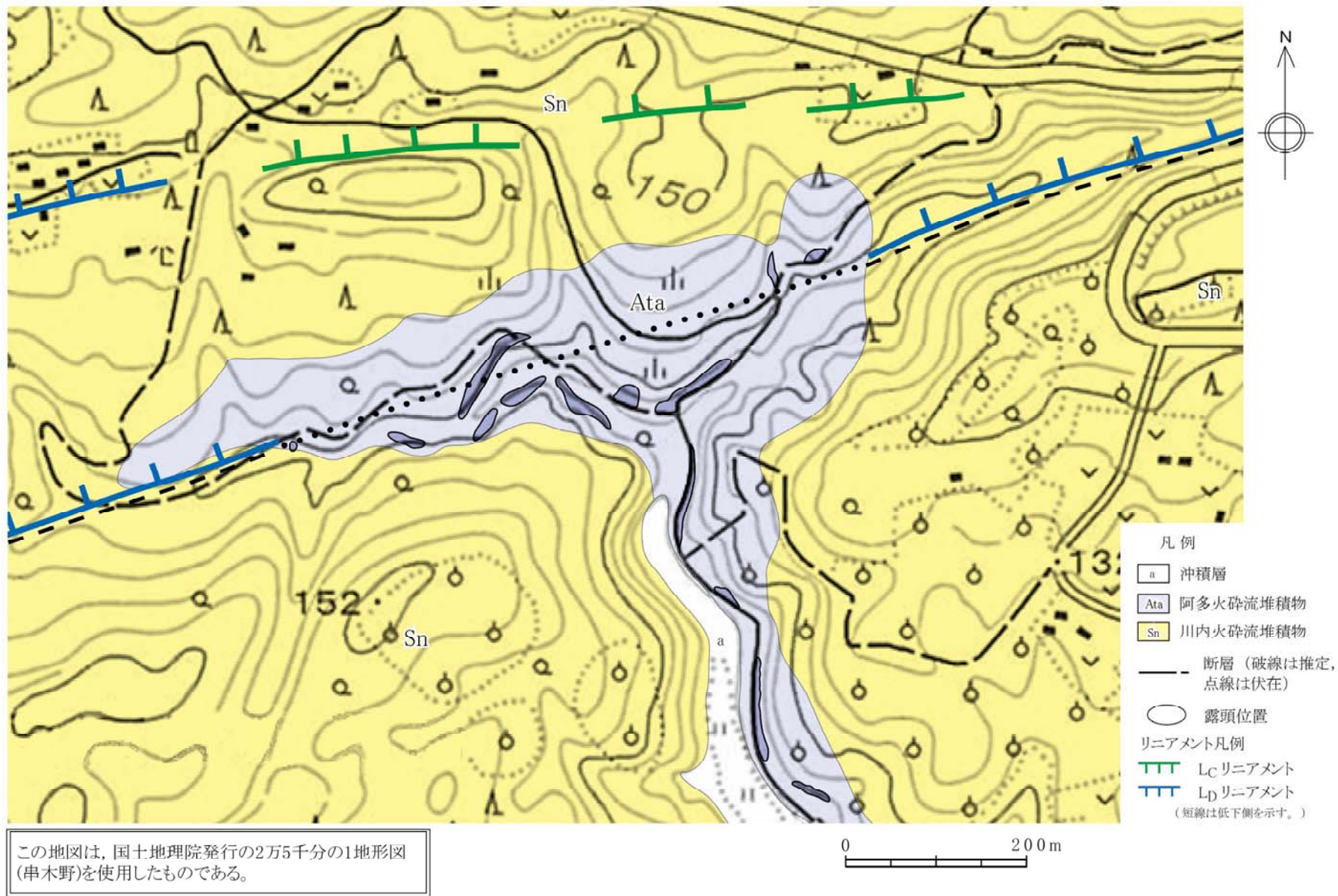
断層面は一部で平滑であるが、細かく凹凸するところも多く、いずれも癒着しており、破碎部も固結している。

凡例

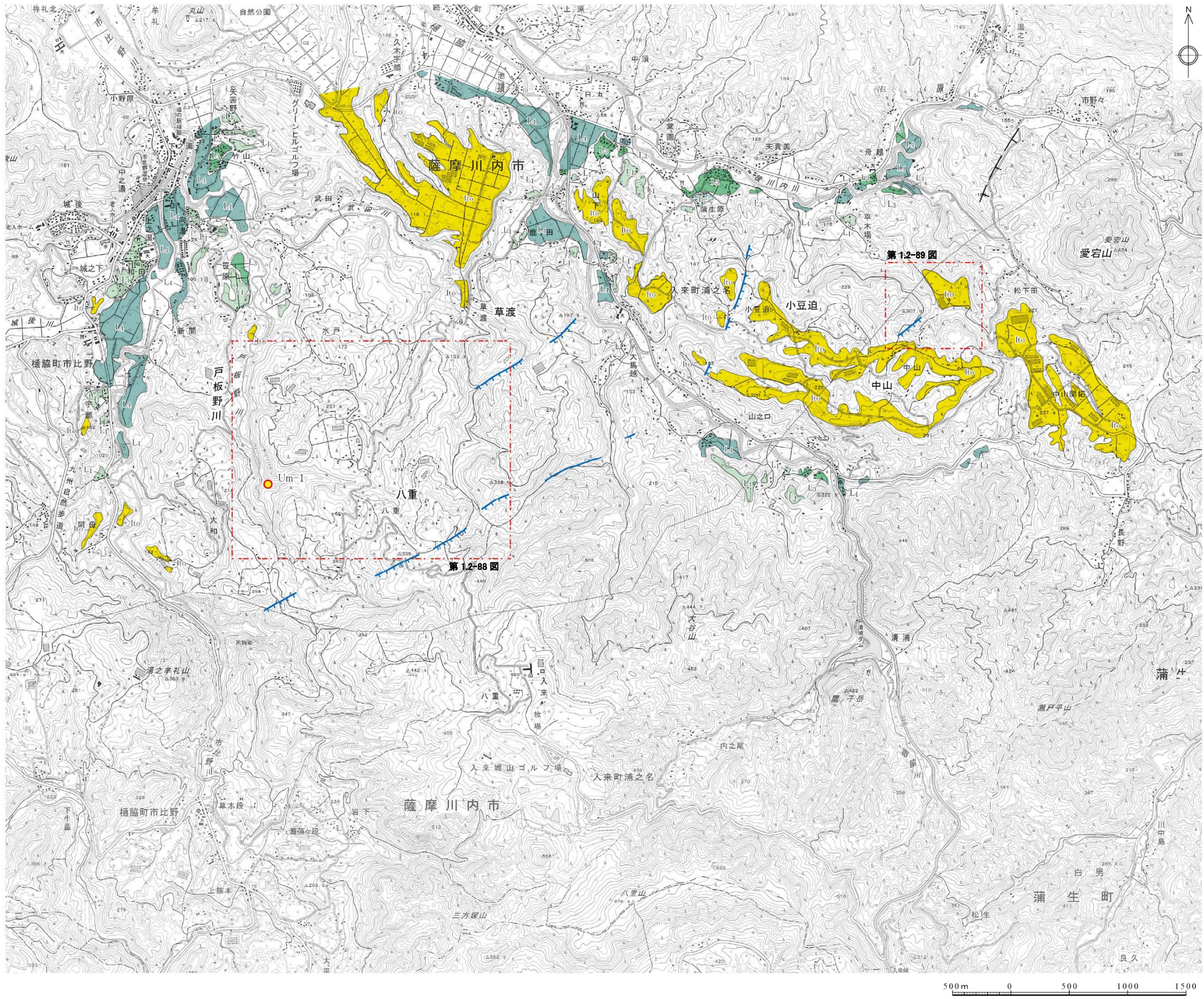
- 旧河床礫層}沖積層
- 輝石安山岩自破碎溶岩}北薩火山岩類Ⅱ
- 弱溶結凝灰岩}二俣川火砕流堆積物
- 輝石安山岩溶岩角礫状破碎部
- 溶結凝灰岩角礫状破碎部

f.N73W,63N 断層面の走向・傾斜

第1.2-82図(2) 露頭スケッチ (Loc.Ik-2, いちき串木野市松比良南西)



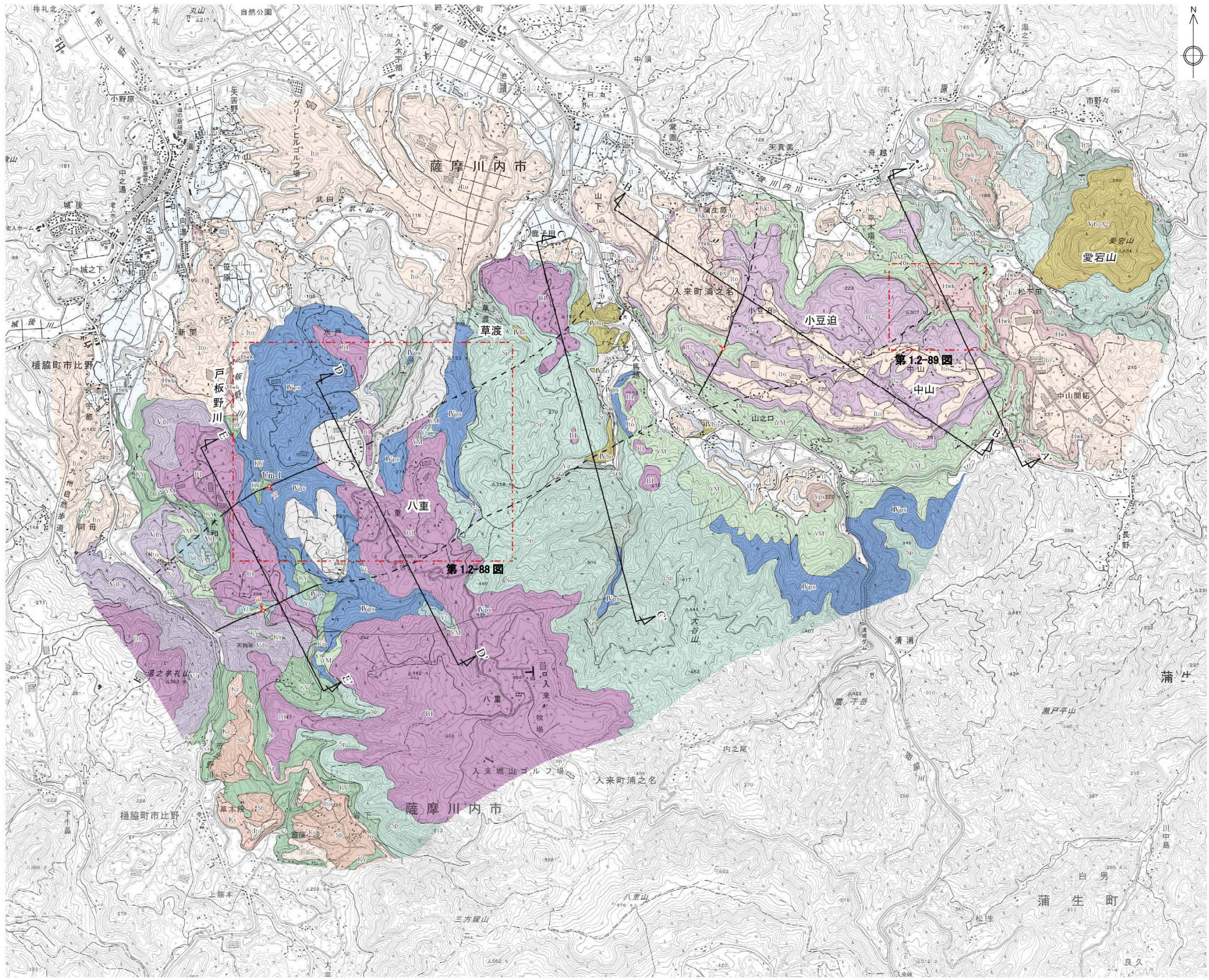
第1.2-83図 ルートマップ(日置市皆田西北方付近)



- 地形面凡例
- L4 面
 - L3 面
 - L2 面
 - L1 面
 - 入戸火砕流堆積面
- リニアメント凡例
- L_D リニアメント
(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)
 - 「九州の活構造」(1989) による
愛宕山西方断層
 - 詳細図範囲
 - Um-1 露頭位置及び露頭番号

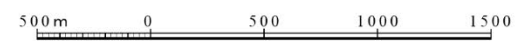
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

第1.2-84図 浦之名断層系周辺の空中写真判読図
1.2-543

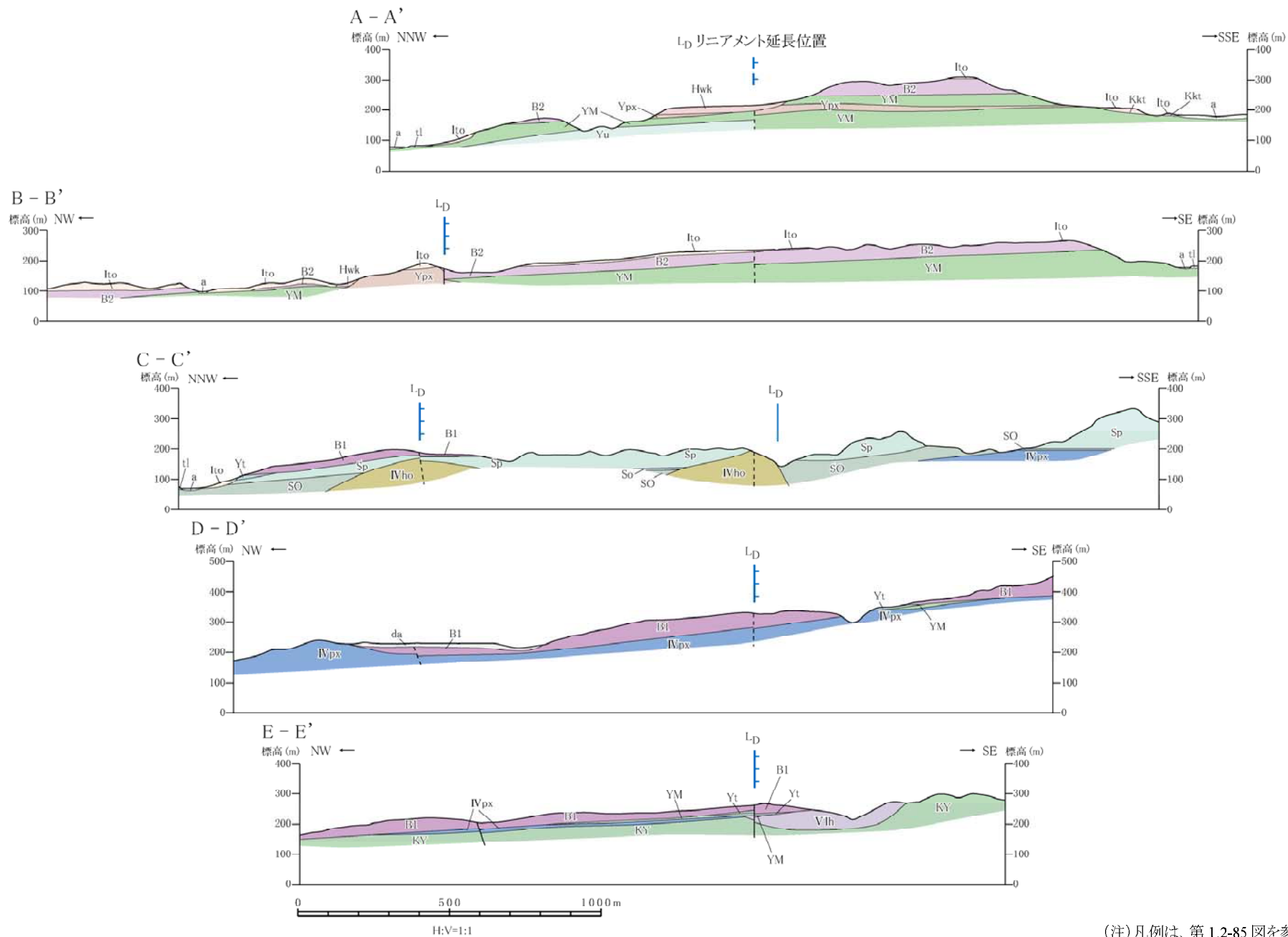


- 凡 例
- [a] 沖積層
 - [d] 低位段丘堆積物
 - [Ito] 入戸火砕流堆積物
 - [Ata] 阿多火砕流堆積物
 - [Kkt] 加久籐火砕流堆積物
 - [Hwk] 樋脇火砕流堆積物
 - [da] 岩屑なだれ堆積物
 - [B2] 川内玄武岩2 (溶岩)
 - [B1] 川内玄武岩1 (溶岩)
 - [Yc] 八重山火砕流堆積物
 - [Ypx] 輝石安山岩溶岩
 - [YM] 山ノ口層
 - [VhoA2] 愛宕山角閃石安山岩溶岩
 - [Vth] 市比野玄武岩質火砕岩類
 - [Sp] 三方塚山火砕流堆積物
 - [Ya] 湯之元火砕流堆積物
 - [So] 草渡火砕流堆積物
 - [SO] 草渡層
 - [IVp3] 輝石安山岩溶岩
 - [IVho] 角閃石安山岩溶岩
 - [Ks] 草木段火砕流堆積物
 - [Km] 楠元火砕流堆積物
 - [Sb] 菖蒲ヶ段火砕流堆積物
 - [KY] 郡山層
 - [Kr] 倉野火砕流堆積物
- } 川内玄武岩類
 } 北薩火山岩類 V
 } 北薩火山岩類 IV
- Um-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
 14 層理面の走向・傾斜
 地質境界
 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
 断面線位置及び番号
 詳細図範囲

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(塔之原・薩摩郡山)を使用したものである。

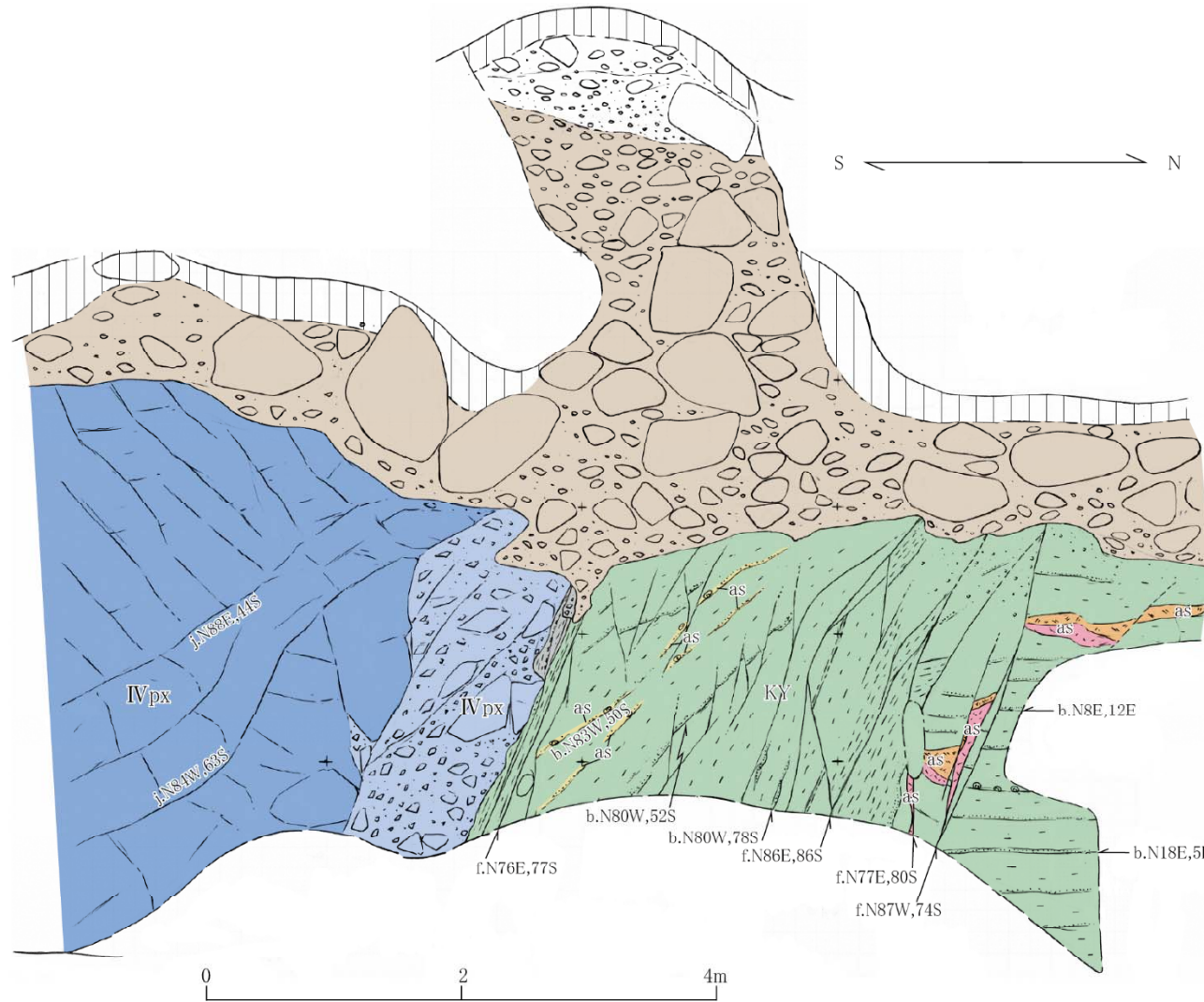


第1.2-85図 浦之名断層系周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2-85 図を参照。

第1.2-86図 浦之名断層系周辺の地質断面図



南側の輝石安山岩溶岩（北薩火山岩類Ⅳ）と北側の郡山層とを境する正断層。

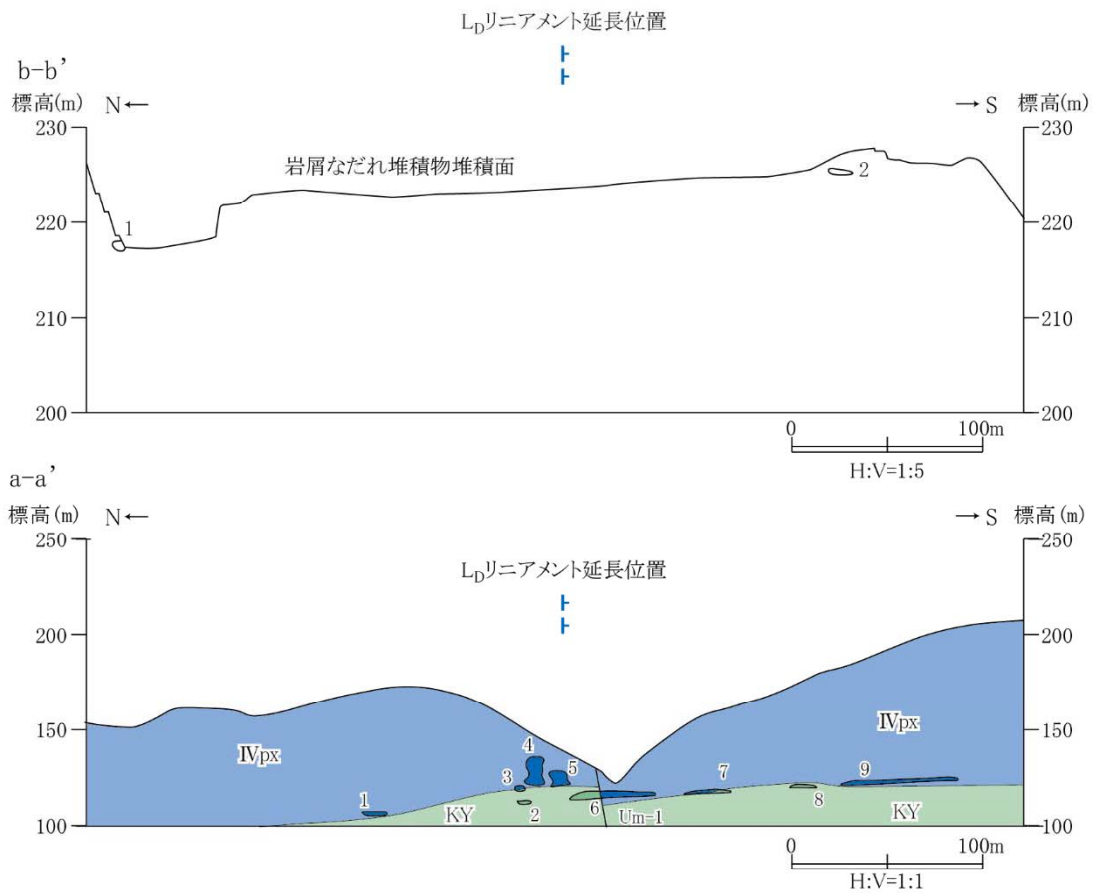
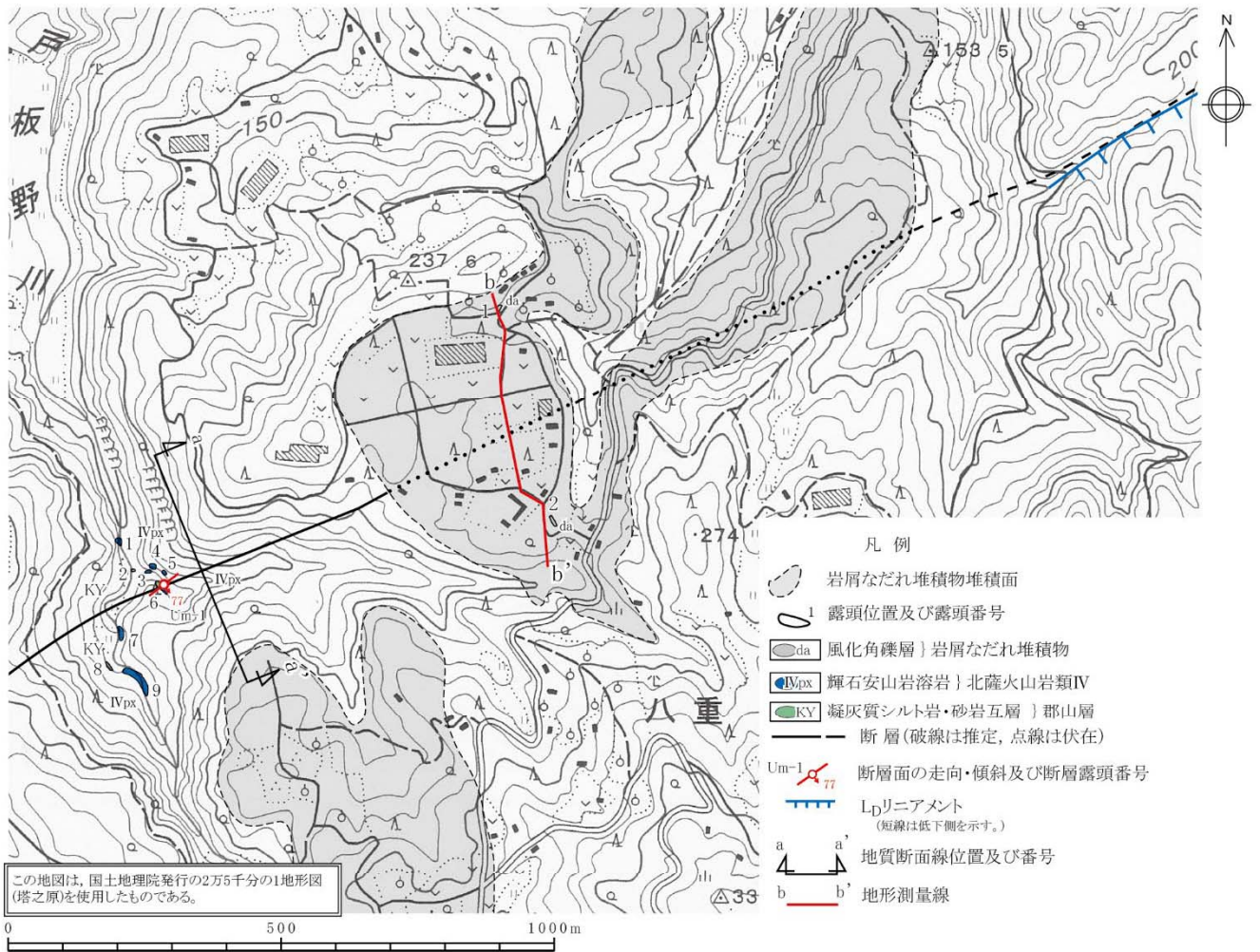
郡山層の凝灰質シルト岩中の断層面は、平面的であるが、癒着しており、破碎部は認められない。輝石安山岩溶岩（同火山岩類Ⅳ）と郡山層とを境する断層面沿いには、安山岩・シルト岩擾乱部が認められるものの、固結している。

凡例

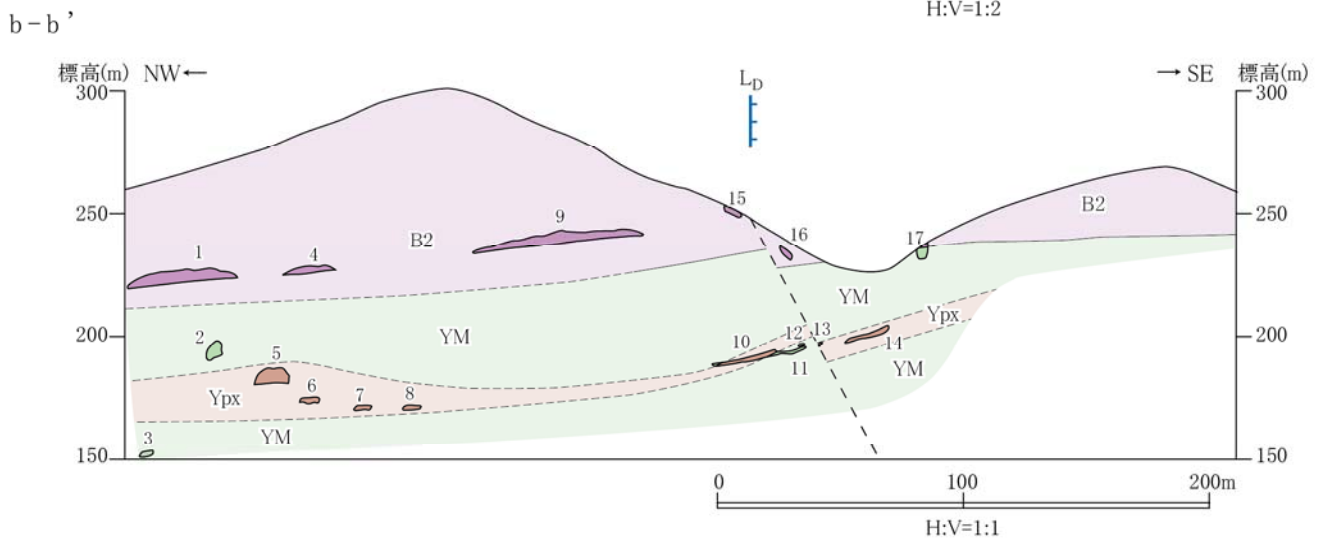
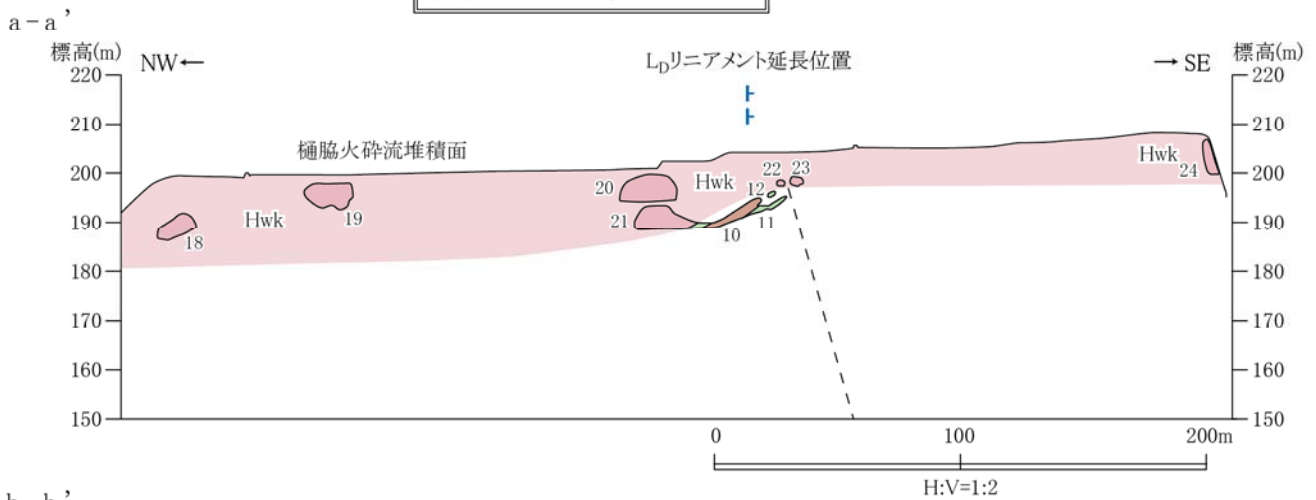
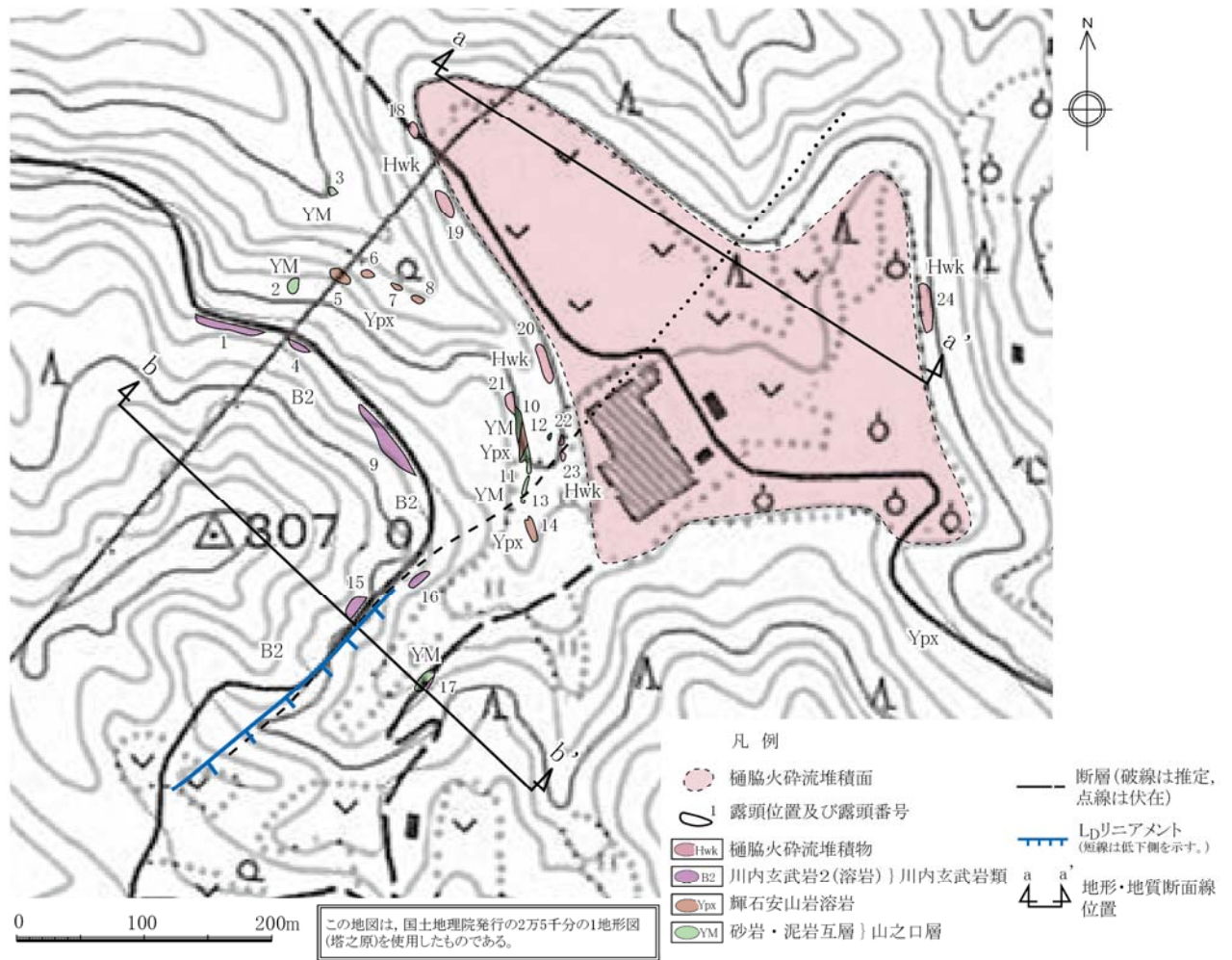
- 黑色土壌
 - 不淘汰礫層
 - 垂円礫層} 段丘堆積物
 - 塊状輝石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩自破碎状溶岩
 - 火山灰層
 - 凝灰質シルト岩
 - 安山岩・シルト岩擾乱部
- } 北薩火山岩類Ⅳ
} 郡山層

f.N77E,80S 断層面の走向・傾斜
j.N88E,44S 節理面の走向・傾斜
b.N83W,50S 層理面の走向・傾斜

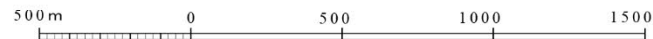
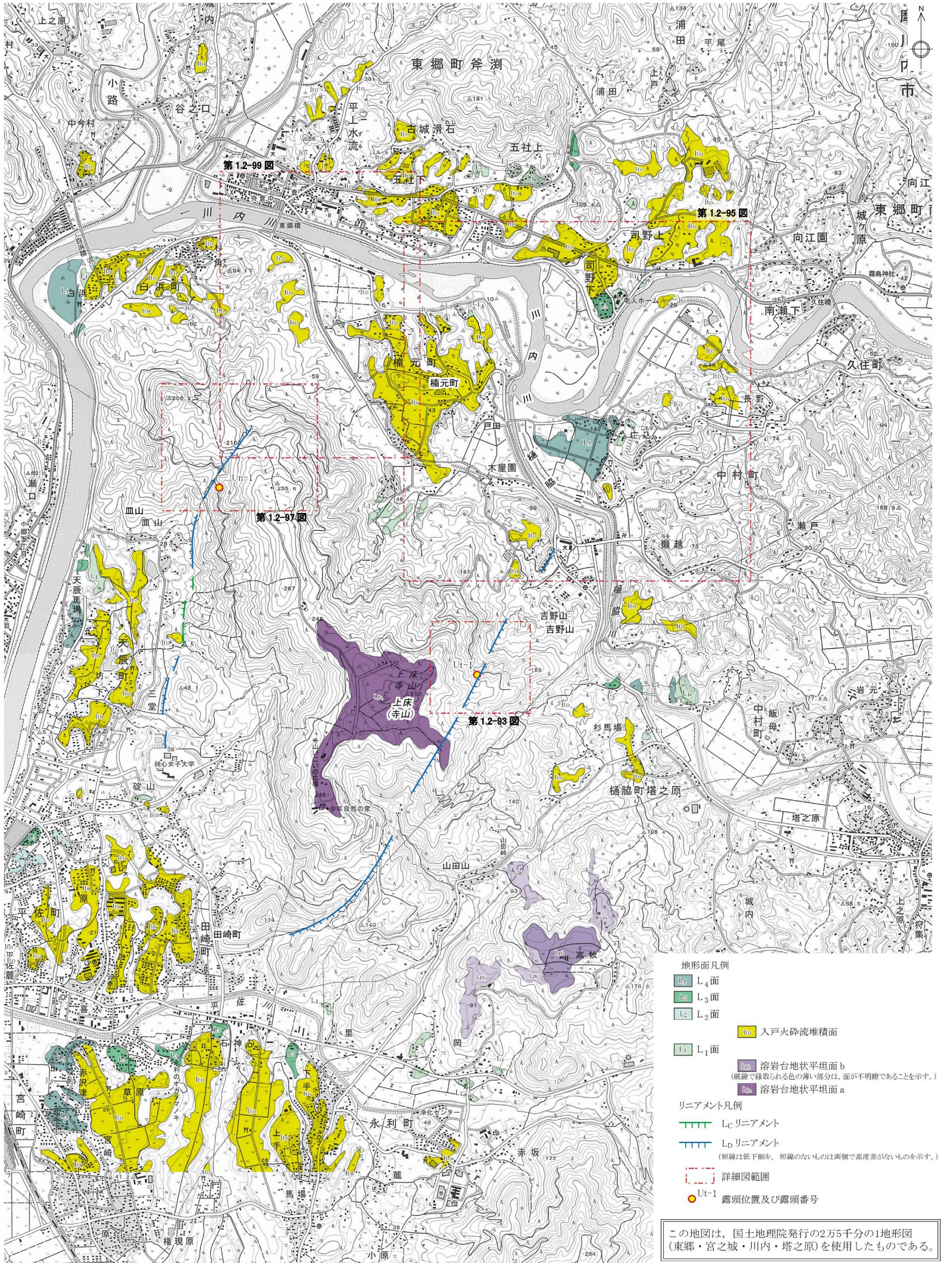
第1.2-87図 露頭スケッチ (Loc.Um-1, 薩摩川内市戸板野川支流左岸)



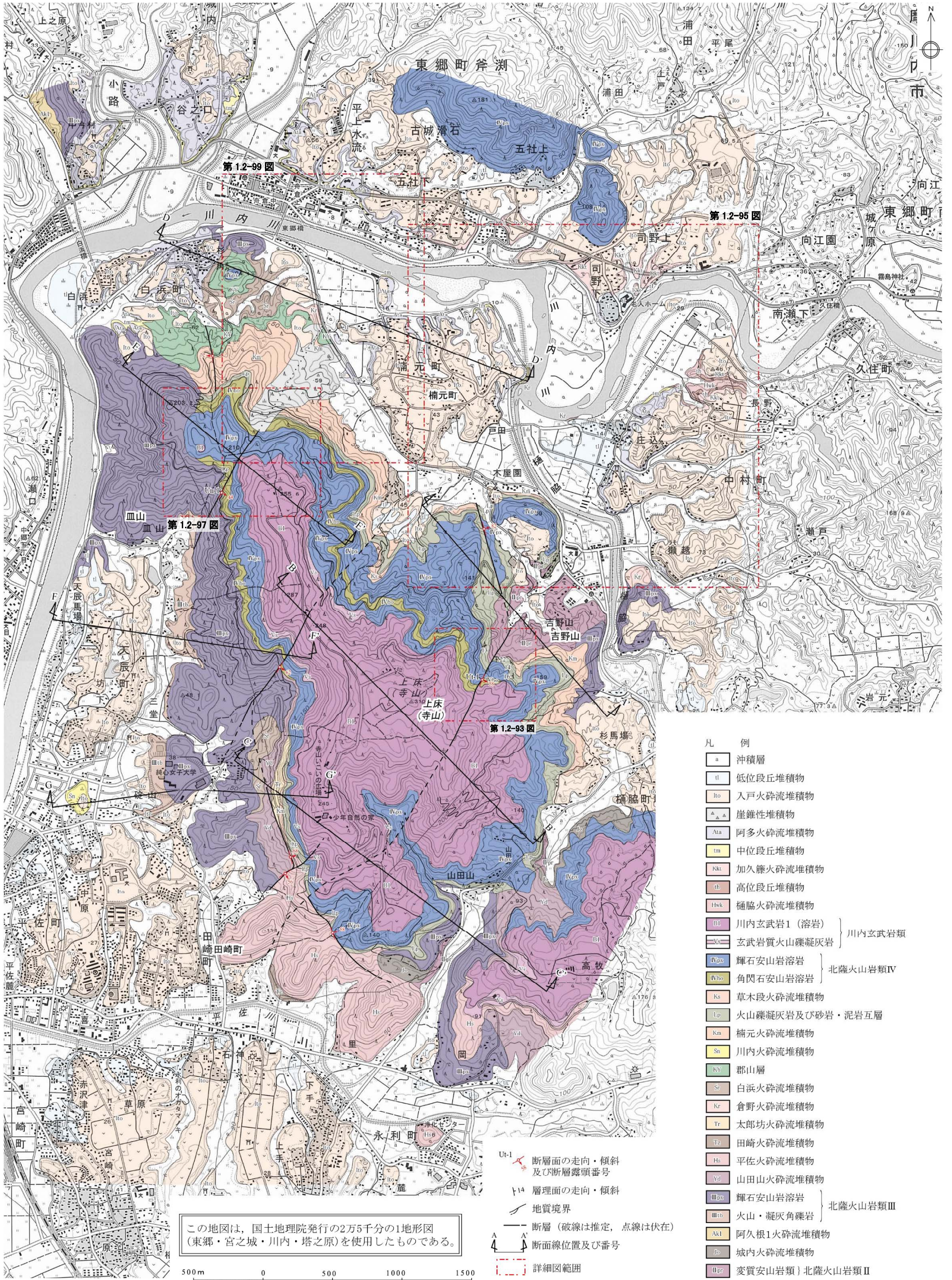
第1.2-88図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市八重付近)



第1.2-89図 ルートマップ及び地形・地質断面図(薩摩川内市中山北方付近)



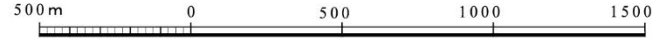
第1.2-90図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の空中写真判読図



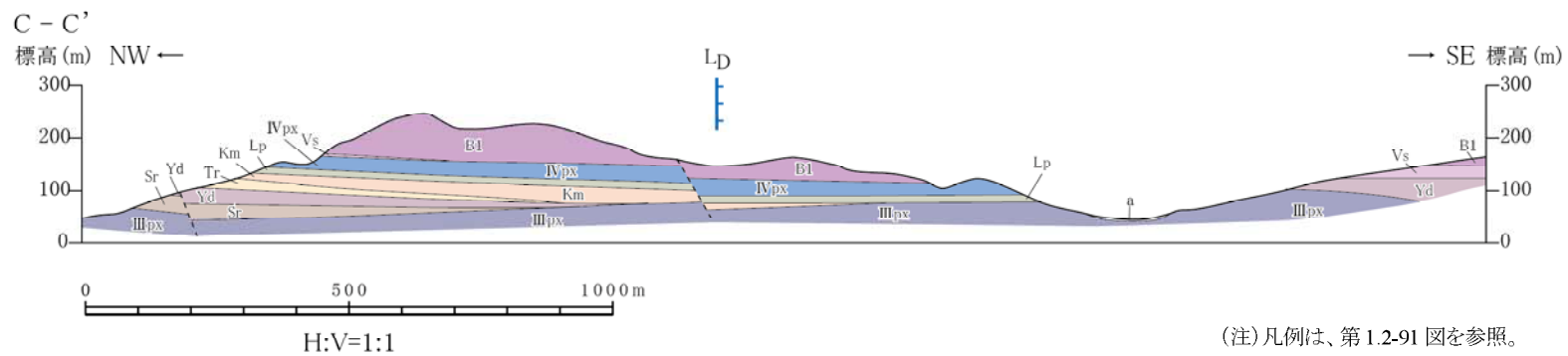
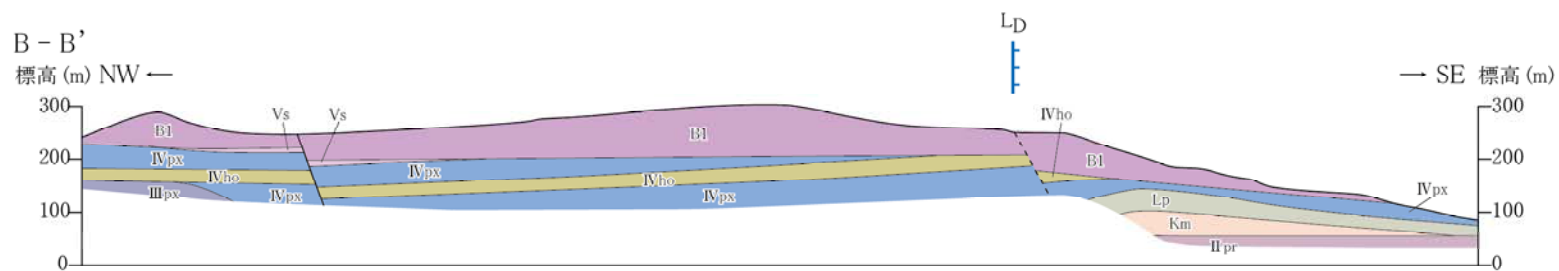
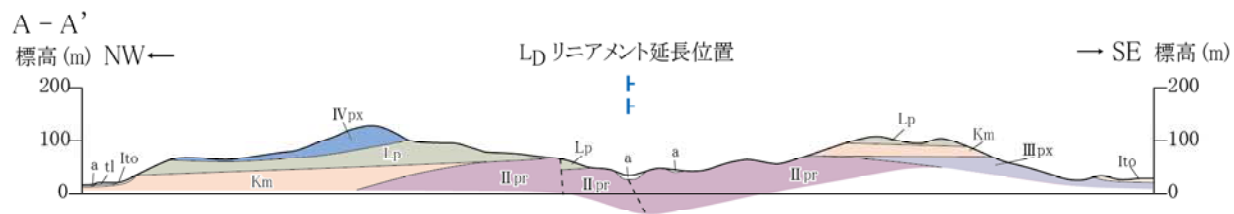
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷・宮之城・川内・塔之原)を使用したものである。

- 凡 例
- a 沖積層
 - tl 低位段丘堆積物
 - lto 入戸火砕流堆積物
 - ▲▲▲ 崖錐性堆積物
 - Ata 阿多火砕流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - Kkt 加久藤火砕流堆積物
 - th 高位段丘堆積物
 - Hwk 樋脇火砕流堆積物
 - Bl 川内玄武岩1(溶岩)
 - Wx 玄武岩質火山礫凝灰岩
 - IVpx 輝石安山岩溶岩
 - IVho 角閃石安山岩溶岩
 - Ks 草木段火砕流堆積物
 - Lp 火山礫凝灰岩及び砂岩・泥岩互層
 - Km 楠元火砕流堆積物
 - Sn 川内火砕流堆積物
 - KY 郡山層
 - Sr 白浜火砕流堆積物
 - Kr 倉野火砕流堆積物
 - Tr 太郎坊火砕流堆積物
 - Iz 田崎火砕流堆積物
 - Hs 平佐火砕流堆積物
 - Yd 山田山火砕流堆積物
 - IIIpx 輝石安山岩溶岩
 - IIIb 火山・凝灰角礫岩
 - Akl 阿久根1火砕流堆積物
 - lb 城内火砕流堆積物
 - IIpr 変質安山岩類} 北薩火山岩類II
- 川内玄武岩類
- 北薩火山岩類IV
- 北薩火山岩類III

- Ut-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- Y-1 層理面の走向・傾斜
- 地質境界
- 断層(破線は推定, 点線は伏在)
- 断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

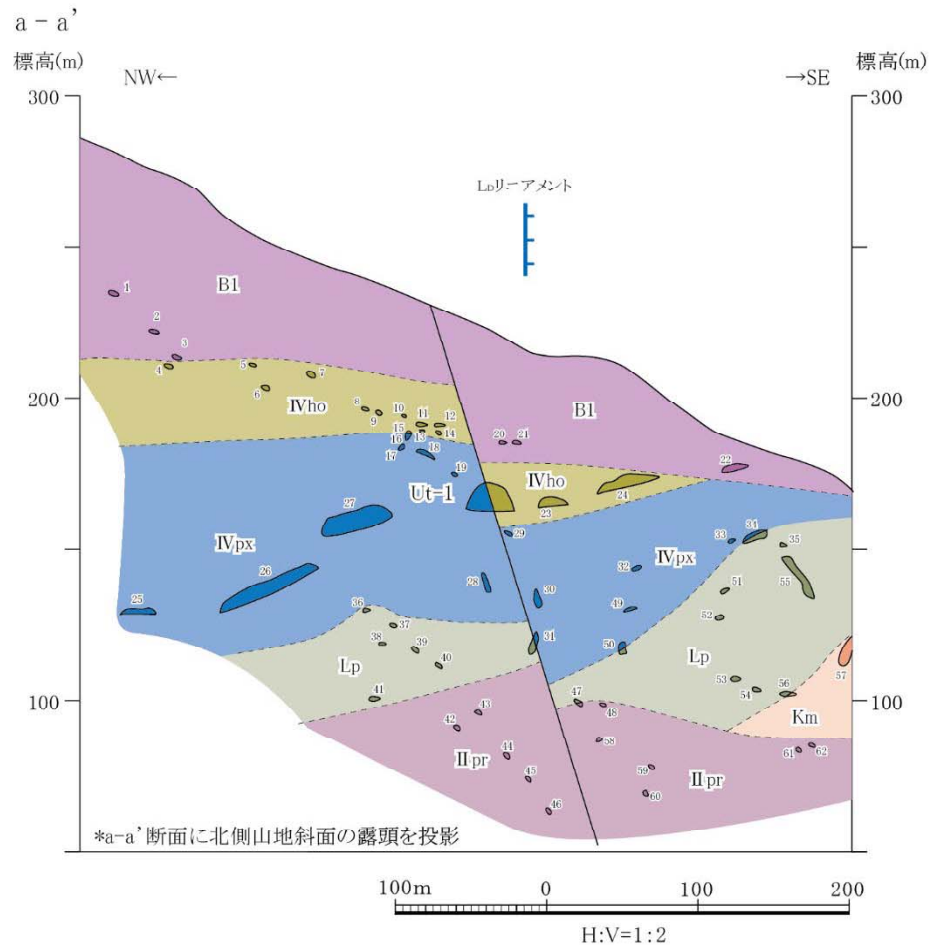
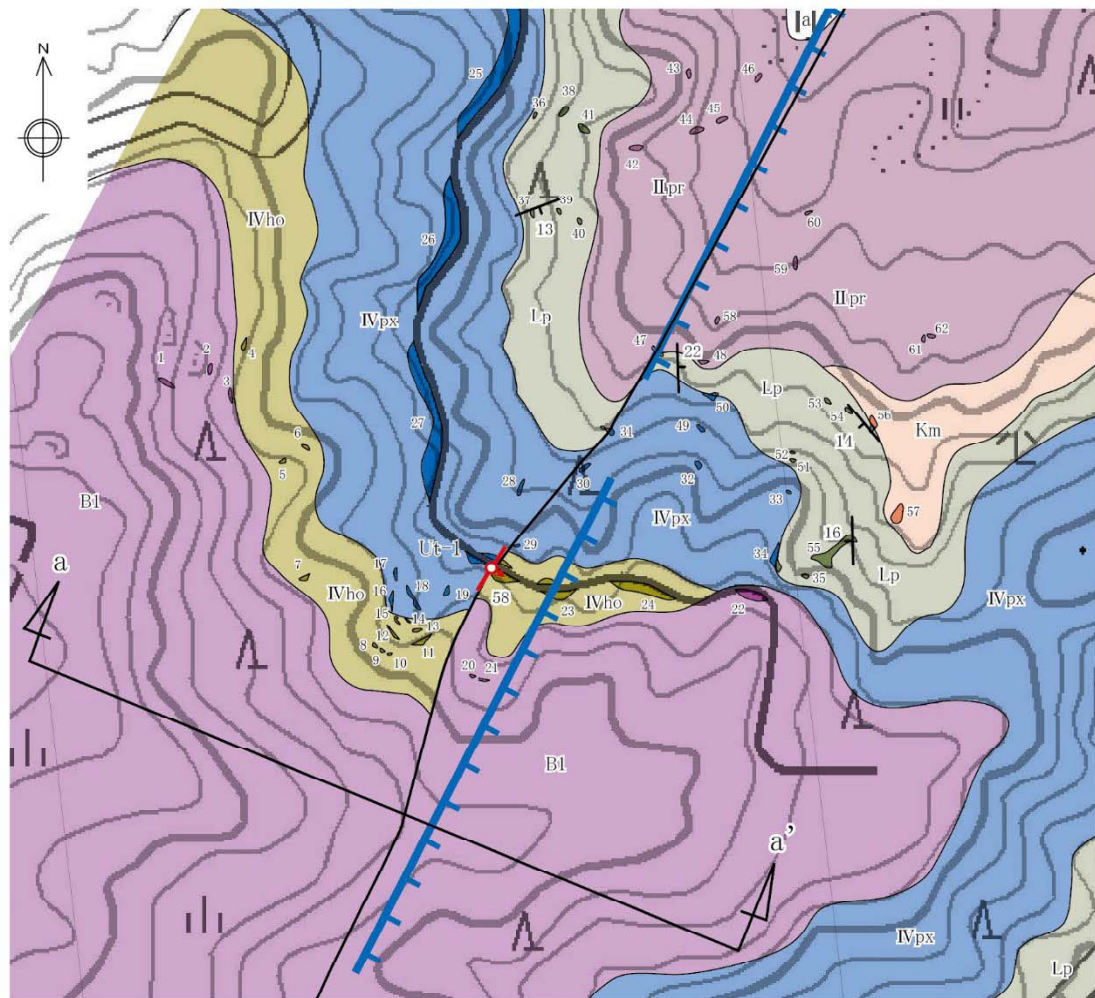


第1.2-91図 上床断層及び上床西リニアメント周辺の地質図



(注) 凡例は、第1.2-91図を参照。

第1.2-92図 上床断層周辺の地質断面図



凡例

- a 沖積層
- B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
- IVho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類IV
- IVpx 輝石安山岩溶岩 }
- Lp 火山礫凝灰岩及び砂岩・泥岩互層
- Km 桶元火砕流堆積物
- IIpr 変質安山岩類 北薩火山岩類II

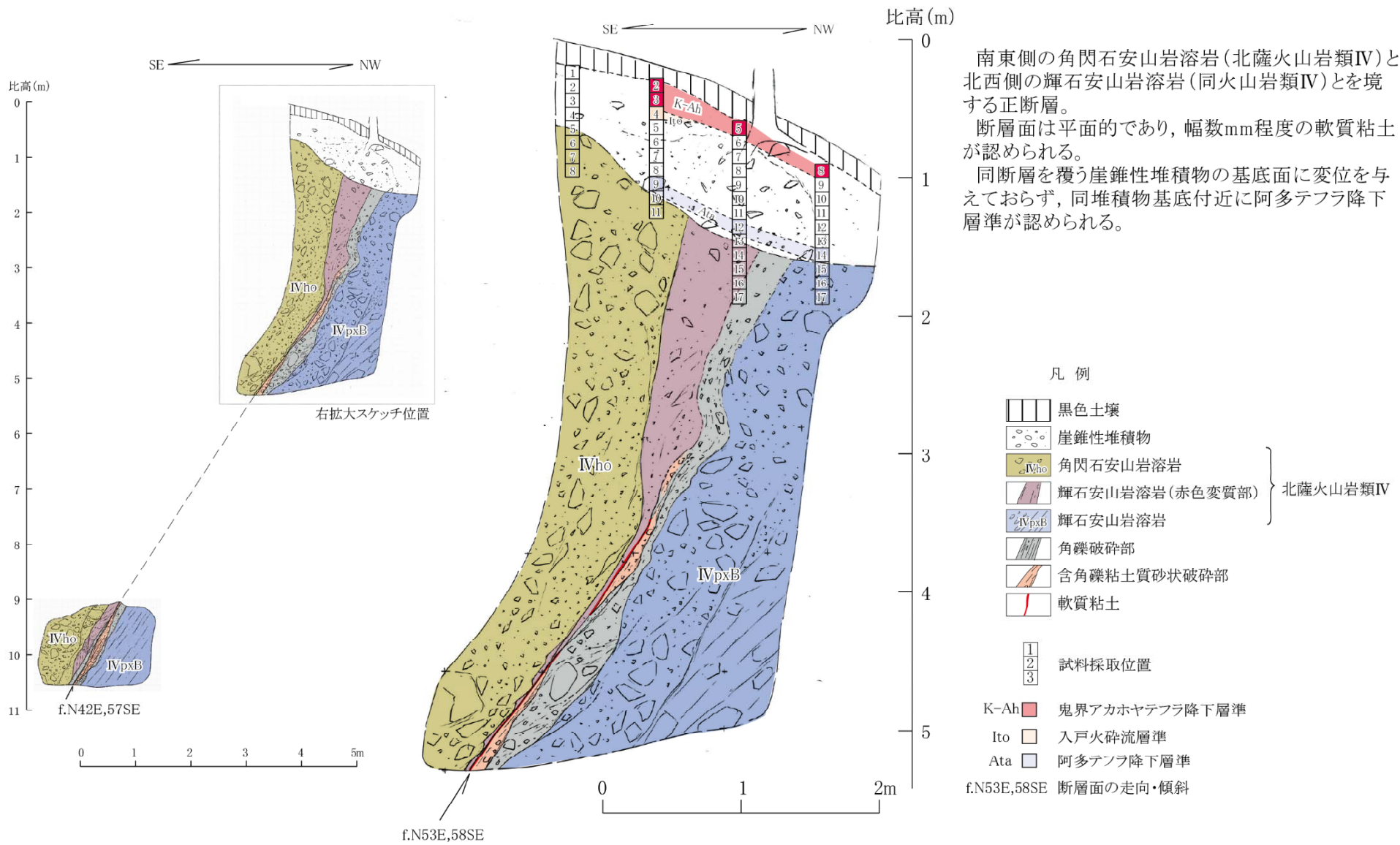
- 16 層理面の走向・傾斜
- 58 断層面の走向・傾斜
- Lpリアメント (短線は低下側を示す。)



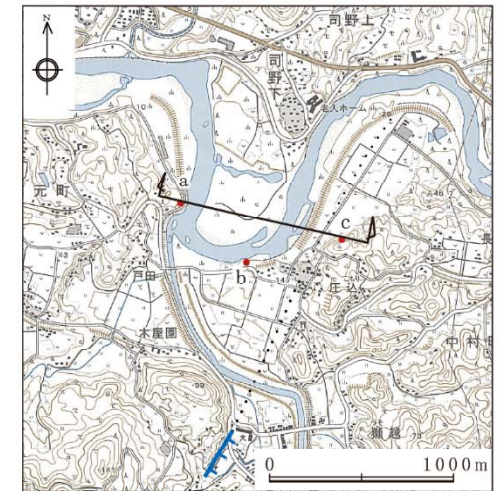
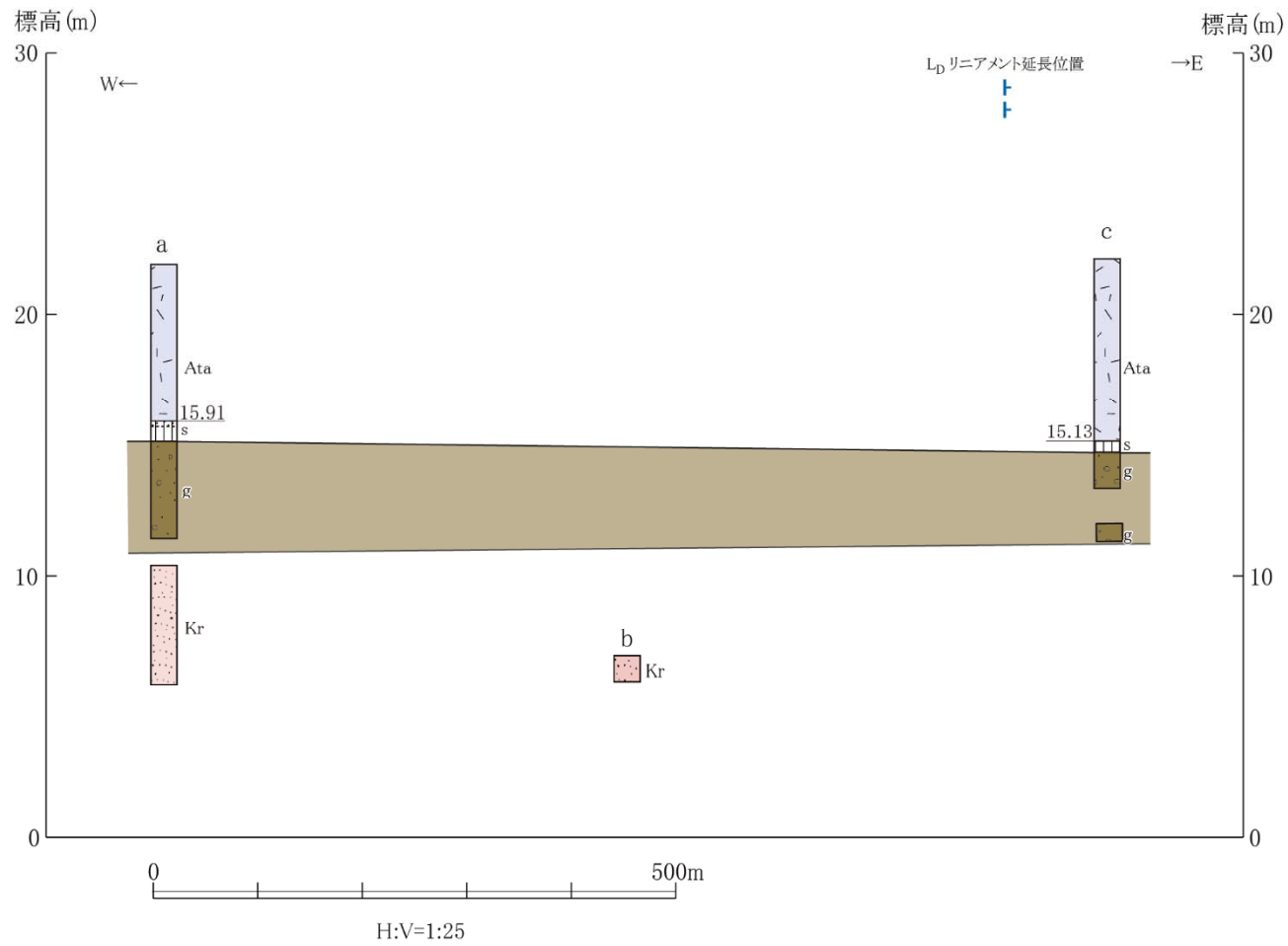
a a' 地質断面線位置
露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第1.2-93図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市吉野山南方付近)



第1.2-94図 露頭スケッチ (Loc.Ut-1, 薩摩川内市吉野山南方)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

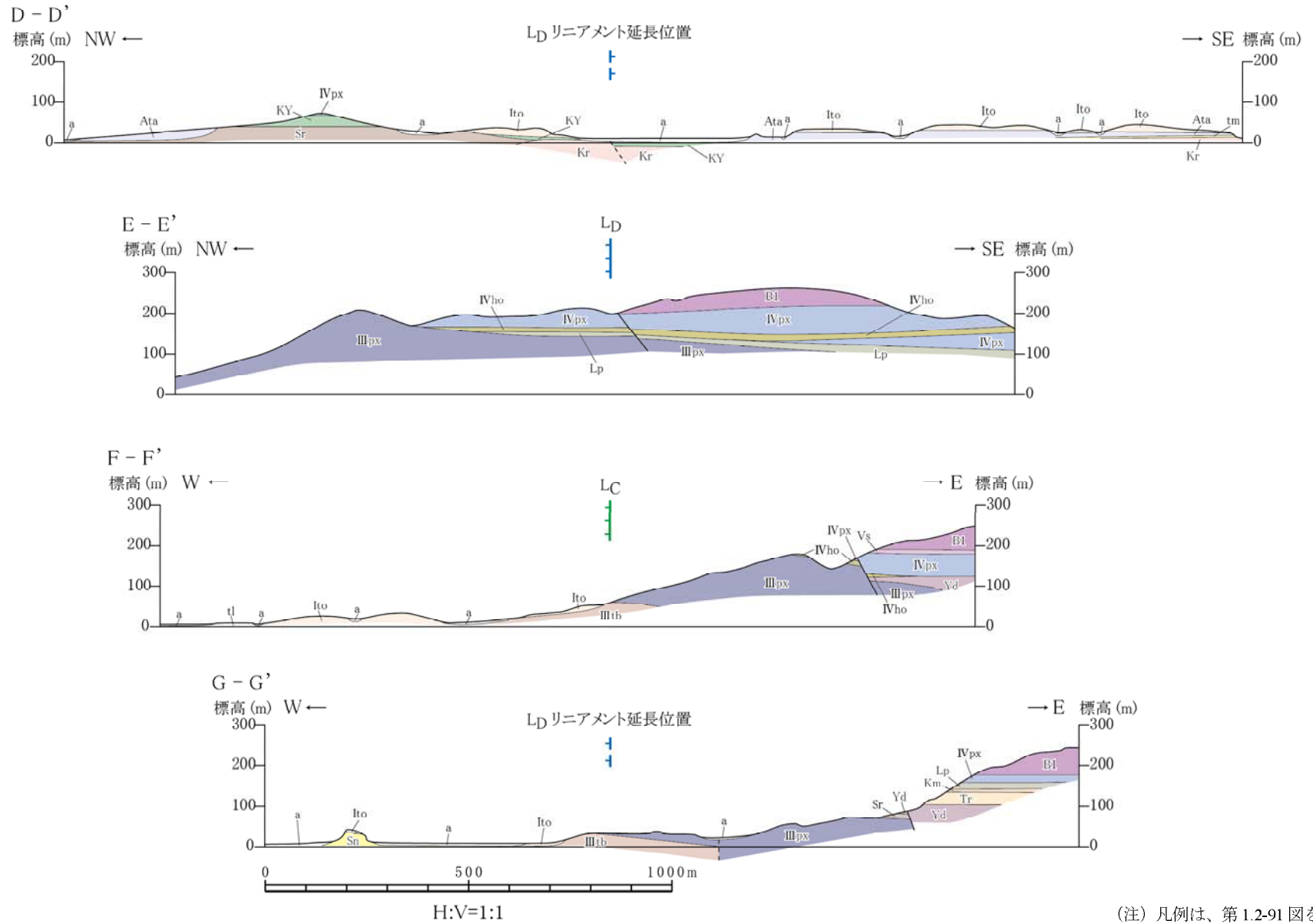
凡例

- Ata/ 阿多火砕流堆積物
- 土壤化帯
- 礫層 } 中位段丘堆積物
- Kr. 倉野火砕流堆積物
- a 柱状作成位置・番号
- 断層(破線は推定, 点線は伏在)

リニアメント凡例

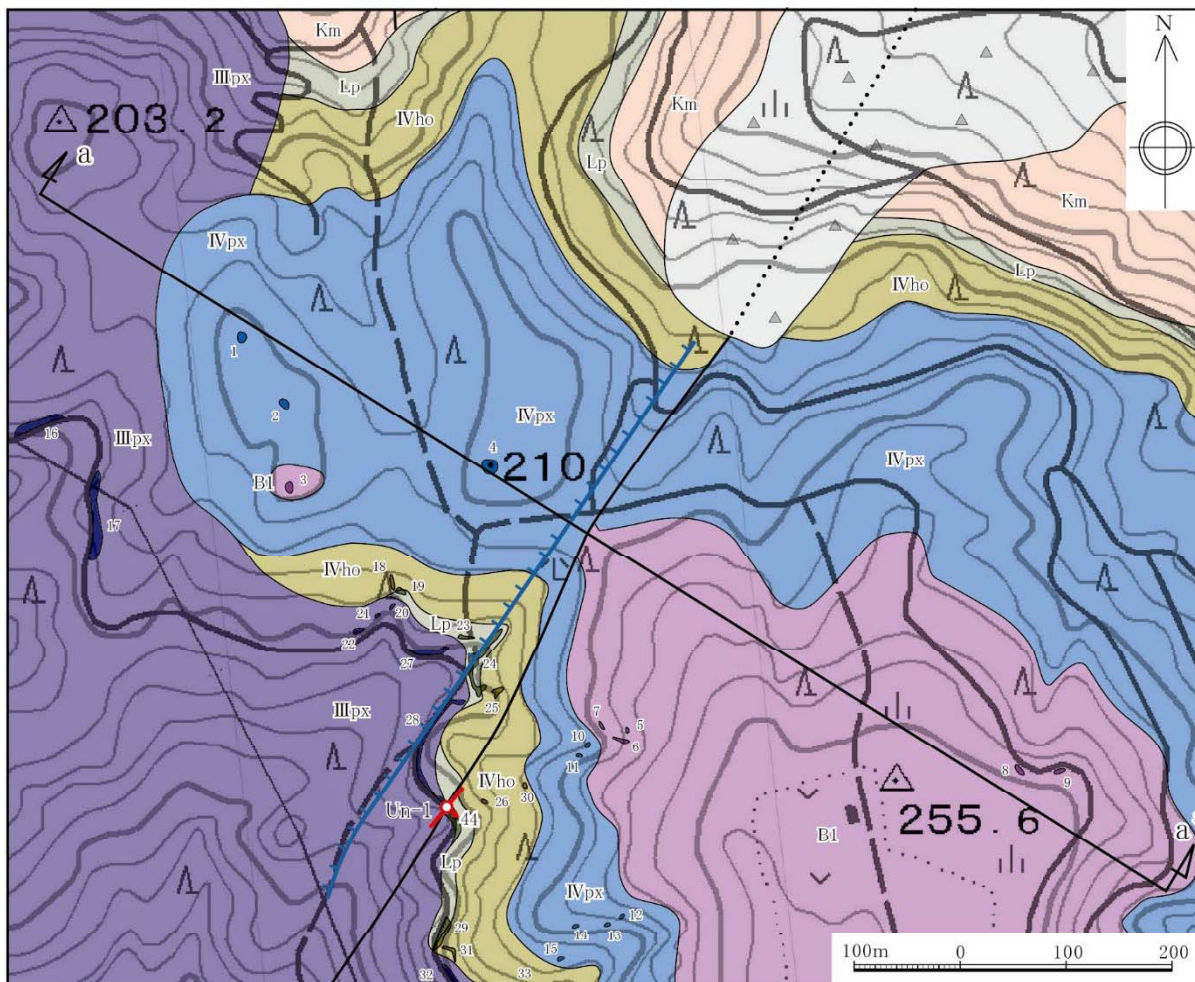
- TTTT L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)

第1.2-95図 薩摩川内市戸田一庄込間の柱状対比



(注) 凡例は、第 1.2-91 図を参照。

第1.2-96図 上床西リニアメント周辺の地質断面図

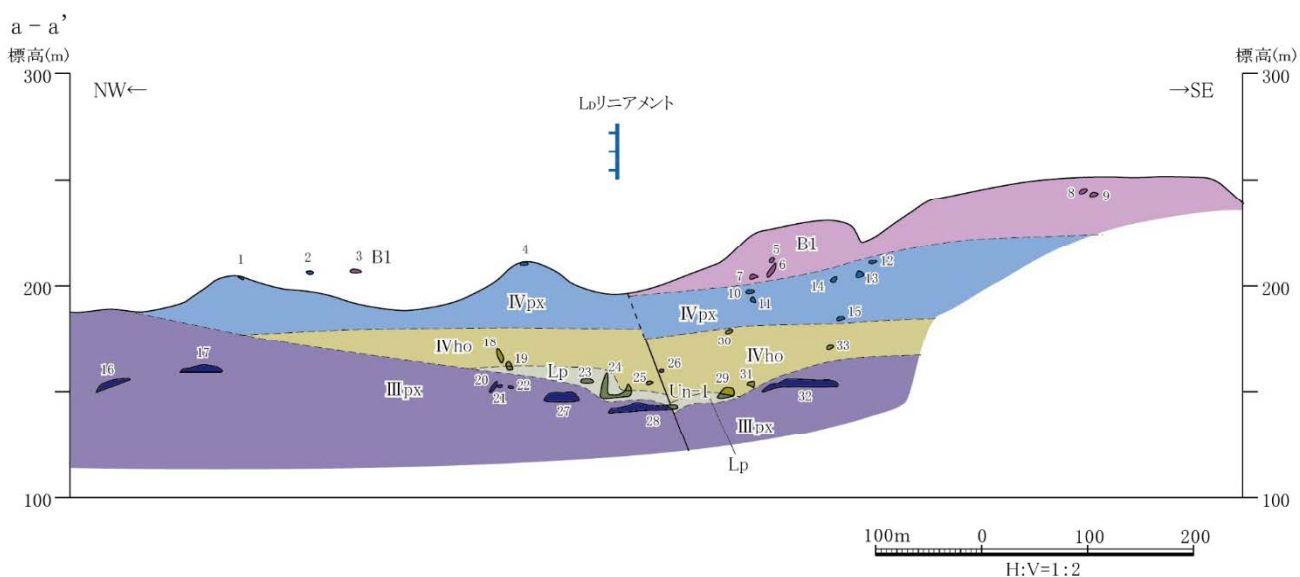


- 凡例
- ▲▲▲ 崖錐性堆積物
 - B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
 - IVpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類IV
 - IVho 角閃石安山岩溶岩 }
 - Lp 火山礫凝灰岩
 - Km 楕元火砕流堆積物
 - IIIpx 輝石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類III

- 断層 (破線は推定, 点線は伏在)
- 44 断層面の走向・傾斜
- L_D リニアメント (短線は低下側を示す。)

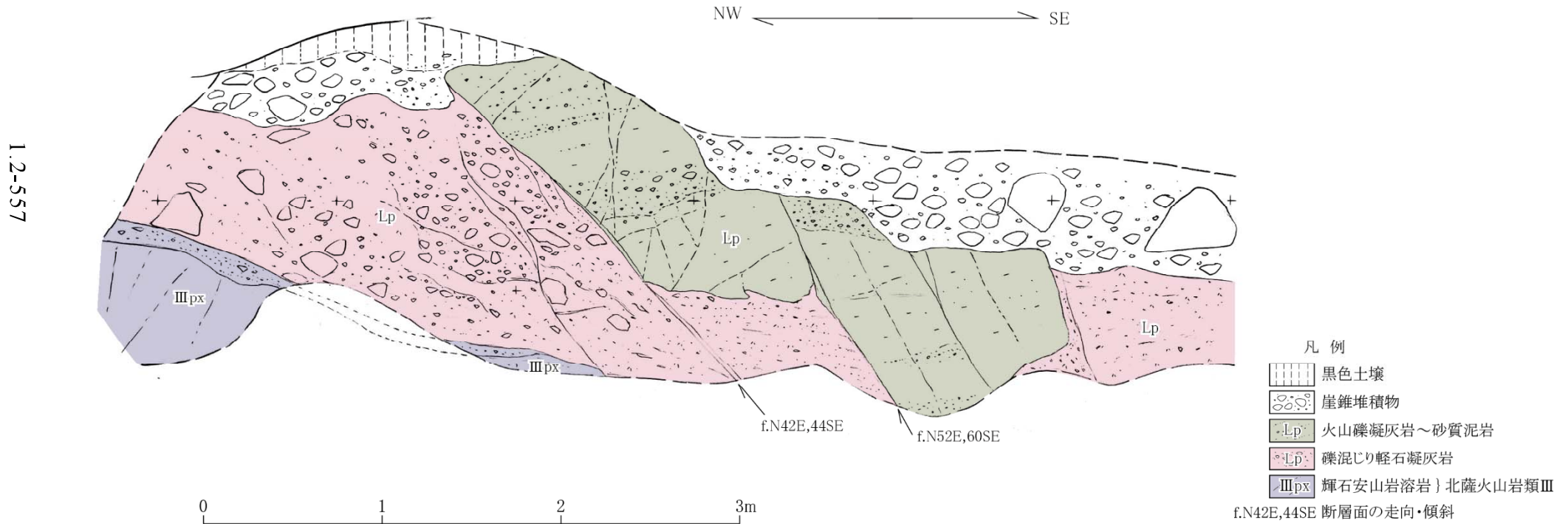
- a a' 地質断面線位置
- 1 露頭位置及び露頭番号

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

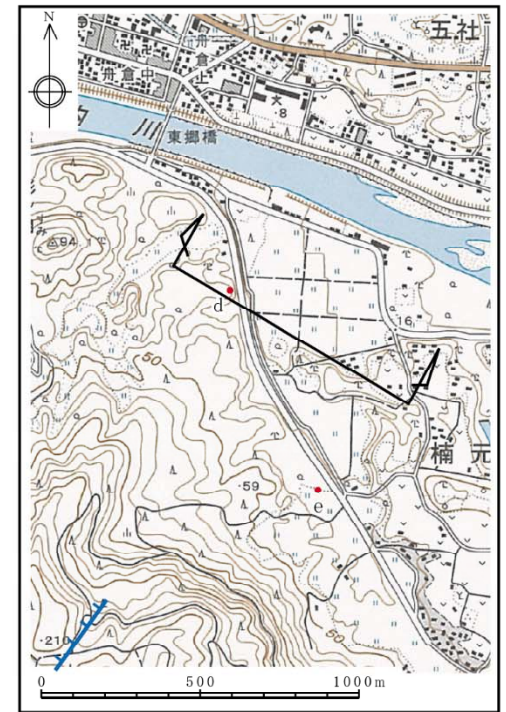
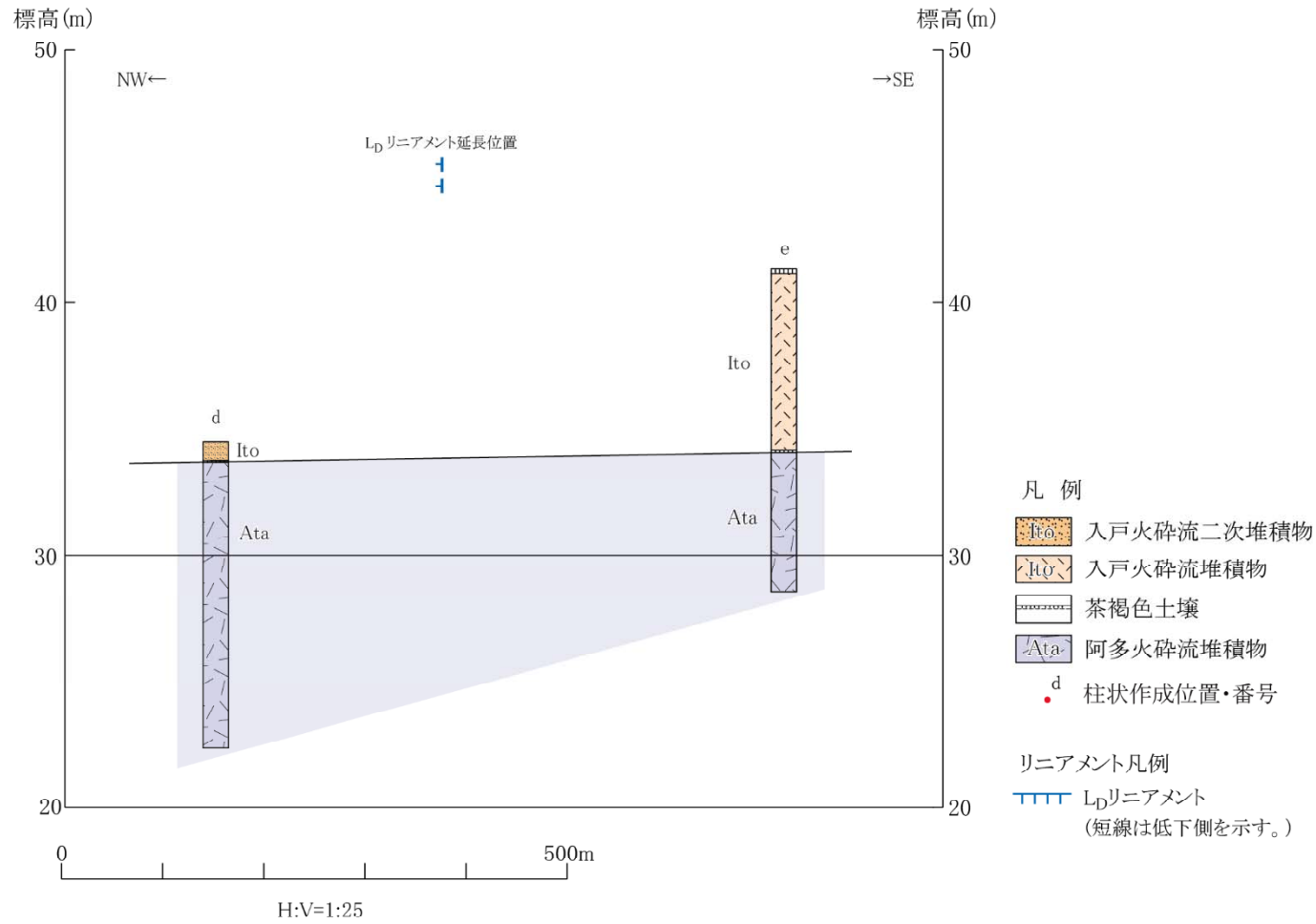


第1.2-97図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市皿山北東付近)

輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅲ)並びにその上位の礫混じり軽石凝灰岩及び火山礫凝灰岩～砂質泥岩に、いずれも南東落ちの変位を与える数条の正断層。
 いずれの断層面も平面的であるが、癒着している。また、断層面近傍の破碎も認められない。

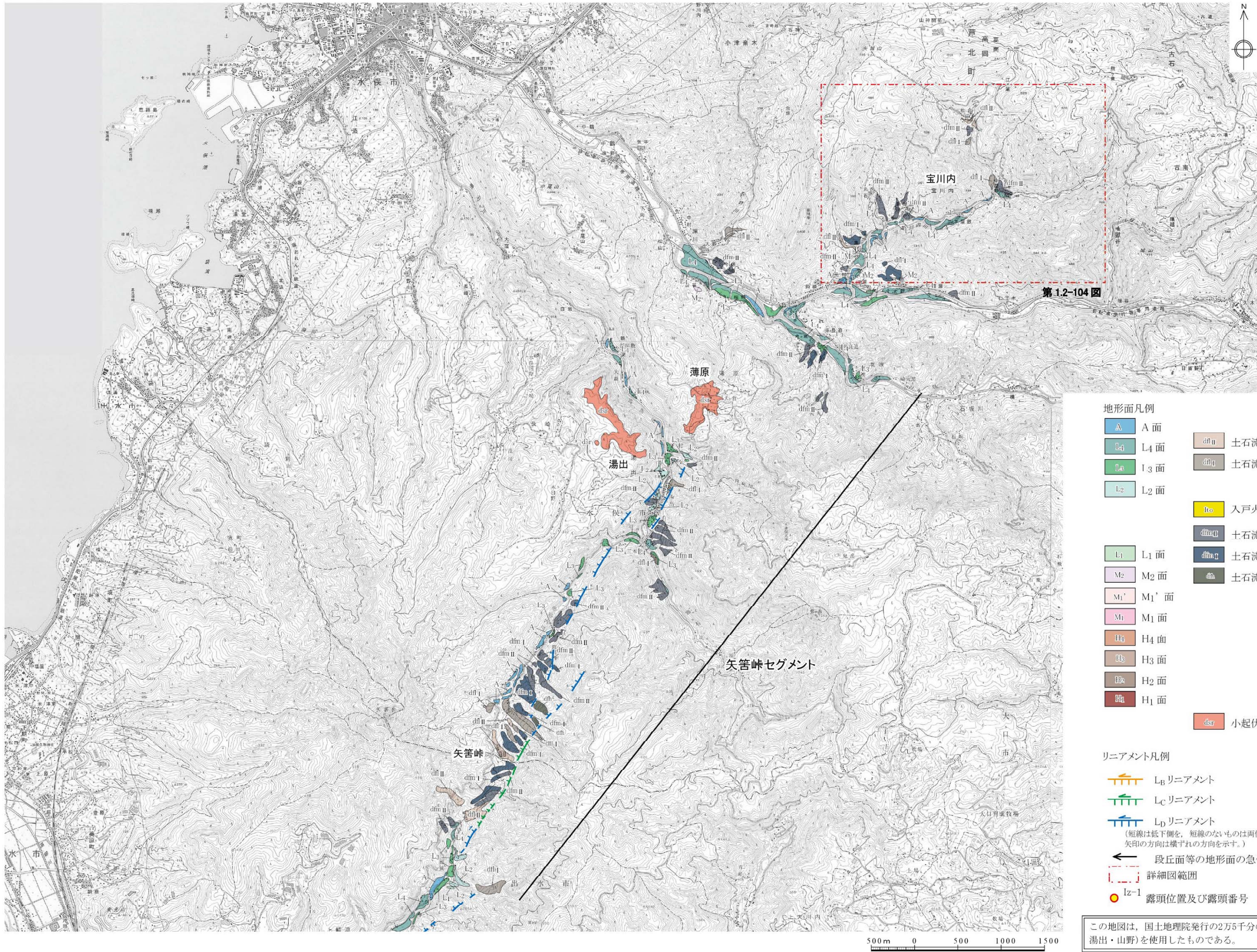


第1.2-98図 露頭スケッチ (Loc.Un-1, 薩摩川内市皿山北東)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

第1.2-99図 薩摩川内市白浜町－楠元町間の柱状対比



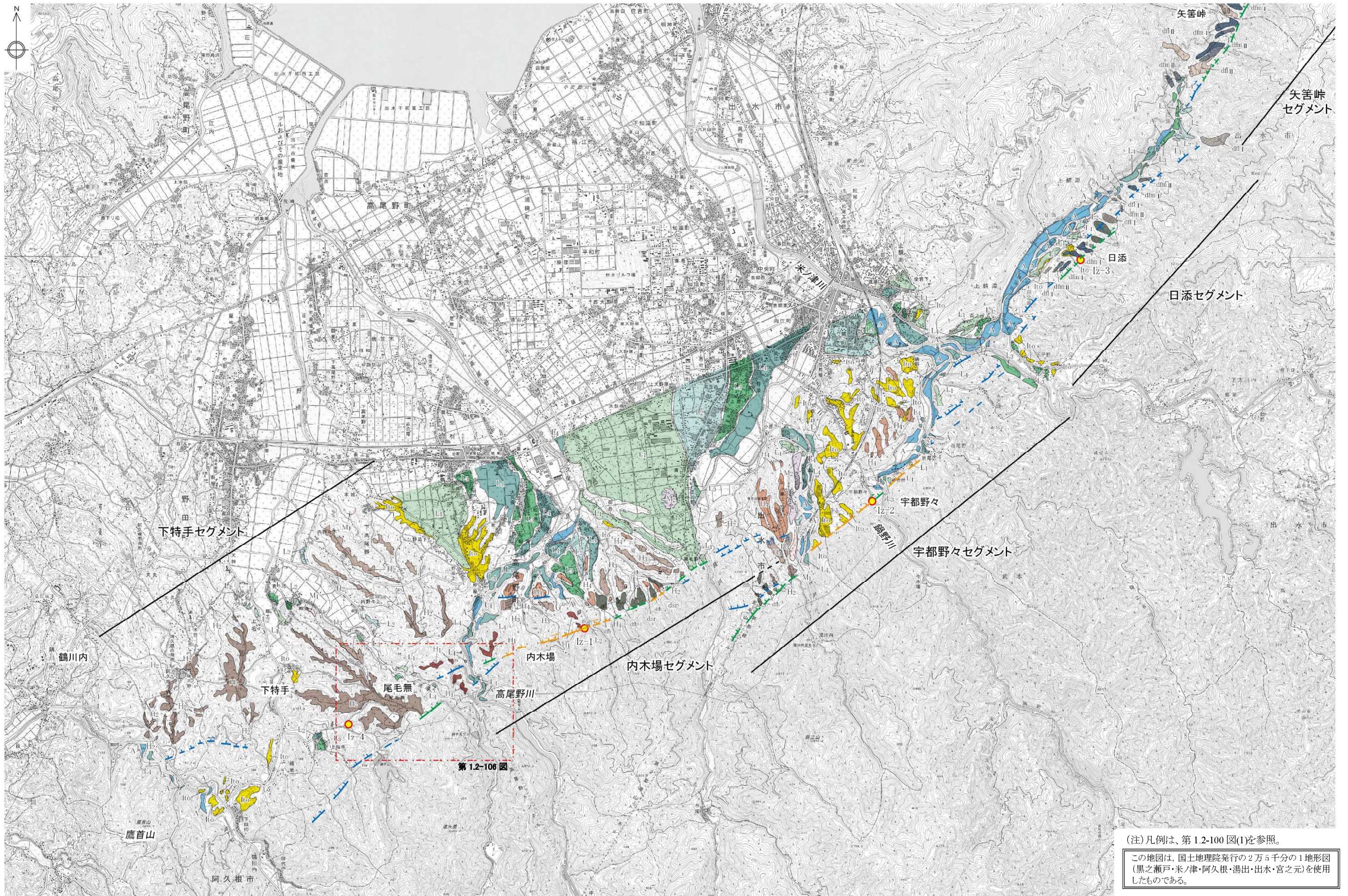
第1.2-104図

- 地形面凡例
- | | |
|---|--|
| A A面 | dfl II 土石流堆積面 (低位 II面) |
| L4 L4面 | dfl I 土石流堆積面 (低位 I面) |
| L3 L3面 | lto 入戸火砕流堆積面 |
| L2 L2面 | dfl III 土石流堆積面 (中位 II面) |
| L1 L1面 | dfl II 土石流堆積面 (中位 I面) |
| M2 M2面 | dfl 土石流堆積面 (高位面) |
| M1' M1'面 | |
| M1 M1面 | |
| H4 H4面 | |
| H3 H3面 | |
| H2 H2面 | |
| H1 H1面 | |
| dsr 小起伏平坦面 (尾根状) | |

- リアメント凡例
- L_B リアメント
 - L_C リアメント
 - L_D リアメント
 - (短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを、矢印の方向は横ずれの方向を示す。)
 - ← 段丘等の地形面の急傾斜部
 - 詳細図範囲
 - lz-1 露頭位置及び露頭番号

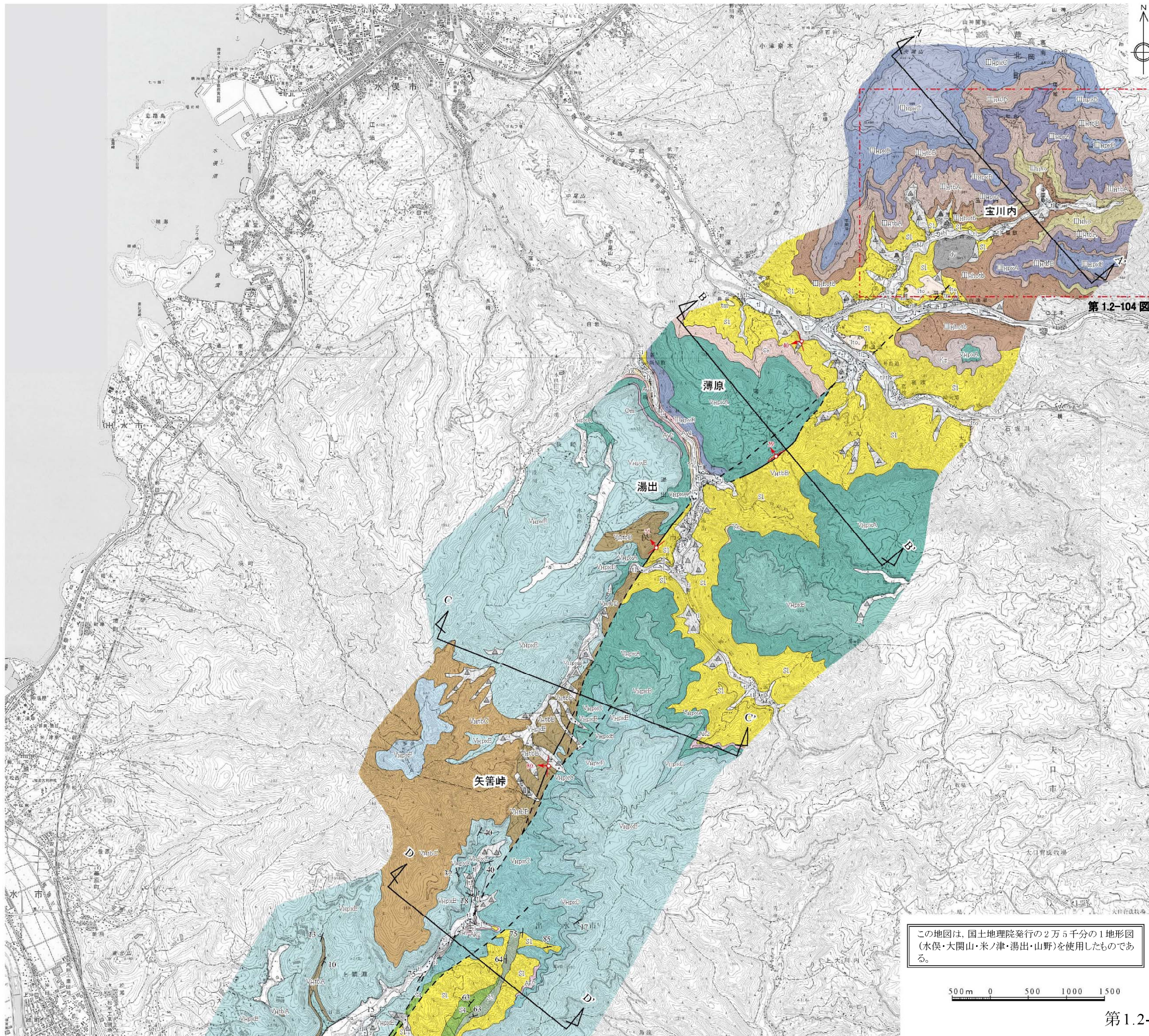
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(水俣・大岡山・米ノ津・湯出・山野)を使用したものである。

第1.2-100図(1) 出水断層系周辺の空中写真判読図(北部)



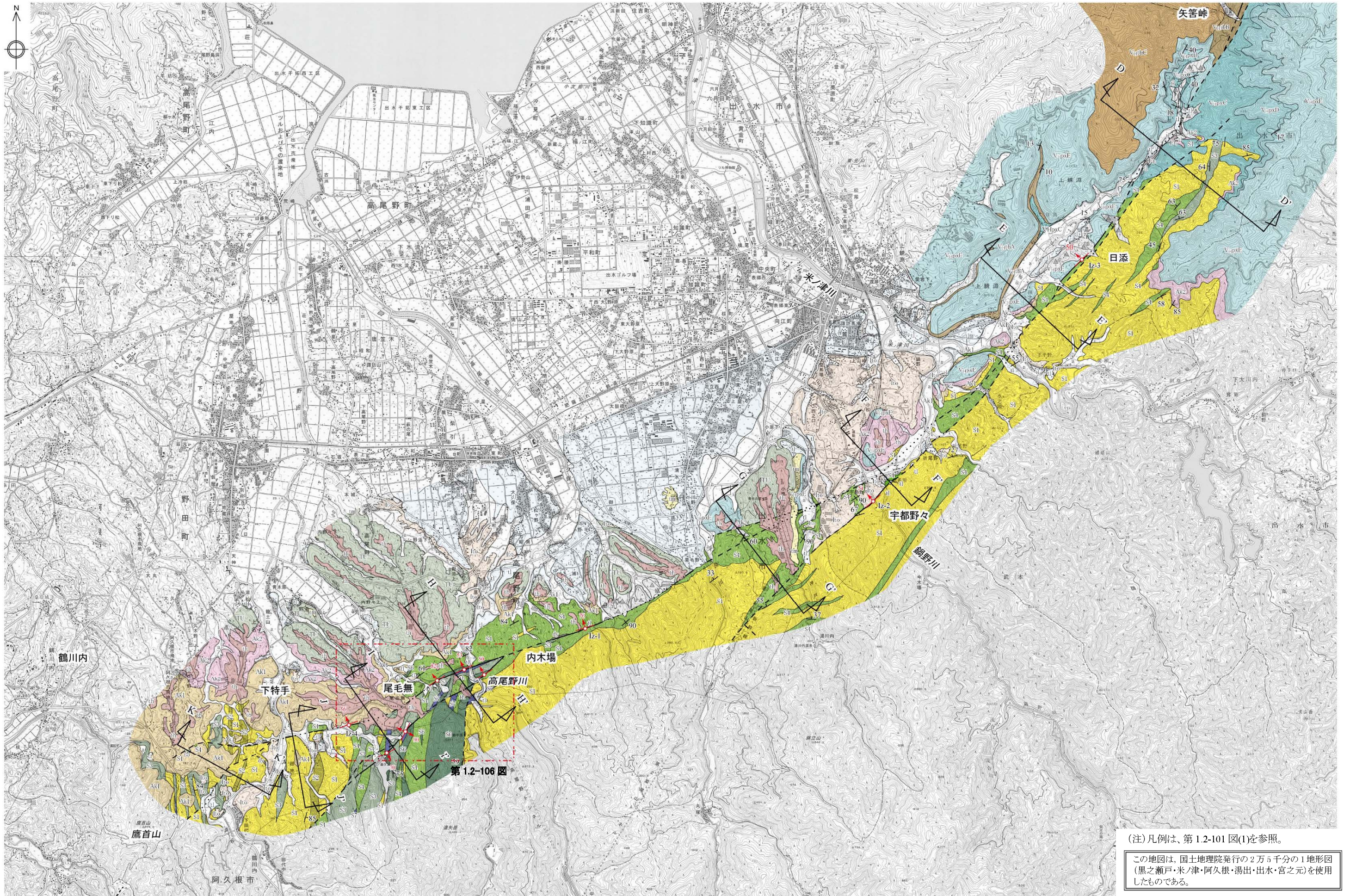
第 1.2-100 図

第 1.2-100 図(2) 出水断層系周辺の空中写真判読図(南部)
1.2-560



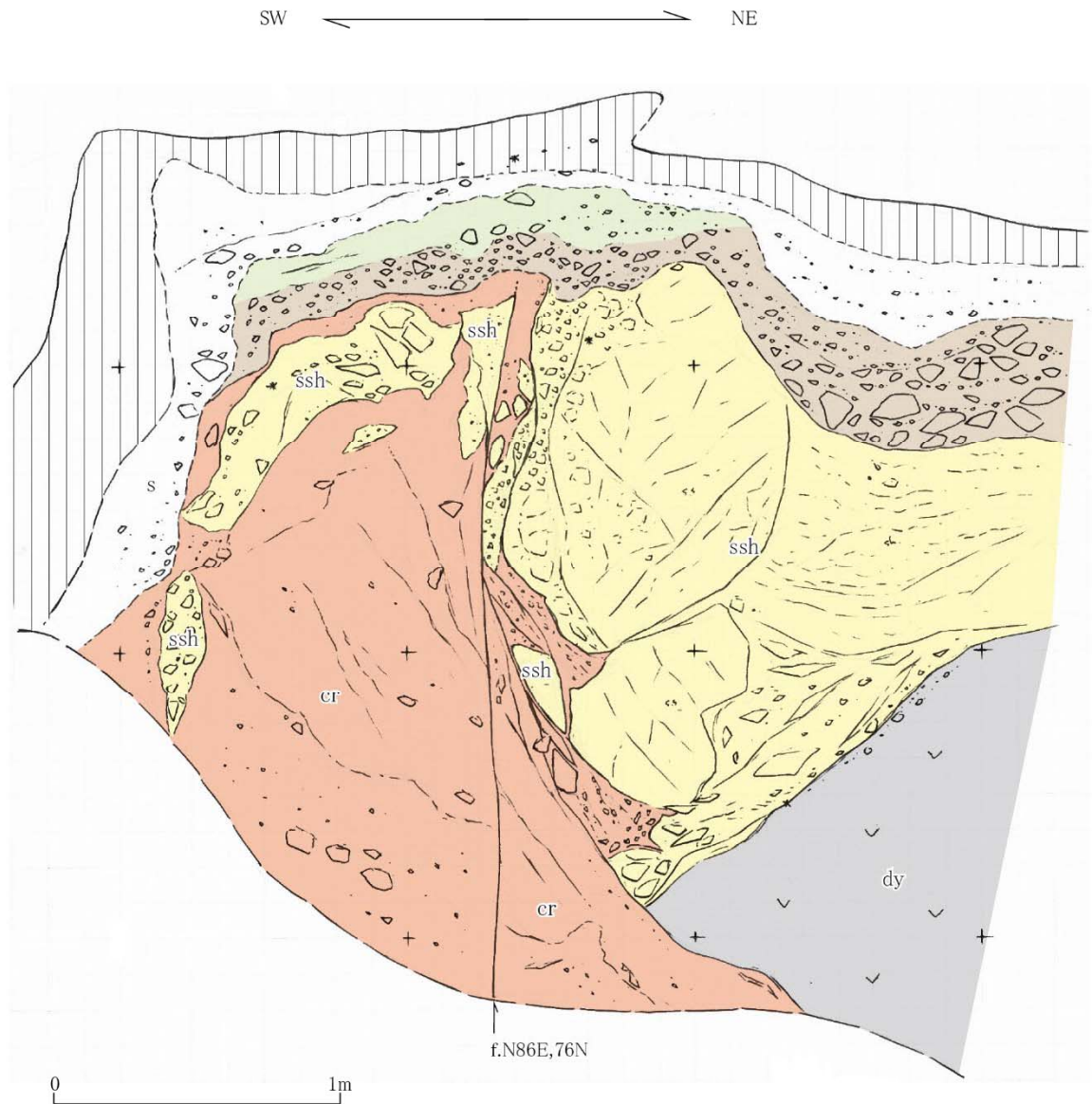
- 凡 例
- a 沖積層
 - ▲ 上石流・崖錐性堆積物
 - ti 低位段丘堆積物
 - to 入戸火砕流堆積物
 - tm 中位段丘堆積物
 - tu 高位段丘堆積物
 - TU 鶴川内層
 - VhpsF 玄武岩質安山岩溶岩
 - VhpsC 凝灰角礫岩 C
 - VhpsB 凝灰角礫岩～火山円礫岩 B
 - VhpsE 輝石安山岩溶岩 E
 - VhpsD 輝石安山岩溶岩 D
 - VhpsA 凝灰角礫岩 A
 - VhpsC 輝石安山岩溶岩 C
 - Ay2 赤林2火砕流堆積物
 - VhpsB 細粒輝石安山岩溶岩 B
 - VhpsA 輝石安山岩溶岩 A
 - Om 大森火砕流堆積物
 - Ay1 赤林1火砕流堆積物
 - Ye 湯出川火砕流堆積物
 - Se 薄原火砕流堆積物
 - K2 葛渡火砕流堆積物
 - VhpsC 輝石安山岩溶岩 C
 - VhpsB 輝石安山岩溶岩 B
 - VhpsB 凝灰角礫岩 B
 - VhpsA 輝石安山岩溶岩 A
 - VhpsA 凝灰角礫岩 A
 - dy 岩脈(角閃石安山岩)
 - VhpsA 輝石角閃石安山岩溶岩
 - VhpsA 角閃石安山岩質凝灰角礫岩
 - Ak2 阿久根2火砕流堆積物
 - Fa 舟川火砕流堆積物
 - Ak1 阿久根1火砕流堆積物
 - S7 含礫泥岩
 - S3 暗緑色玄武岩
 - S1 頁岩
 - S3 頁岩優勢砂岩頁岩互層
 - S2 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - S1 砂岩
- 肥薩火山岩類V
- 肥薩火山岩類III
- 四万十層群
- Iz-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
 - t14 層理面の走向・傾斜
 - 地質境界
 - 断層(破線は推定、点線は伏在)
 - 断面線位置及び番号
 - 詳細図範囲

第1.2-101図(1) 出水断層系周辺の地質図(北部)



第1.2-101図(2) 出水断層系周辺の地質図(南部)
1.2-562

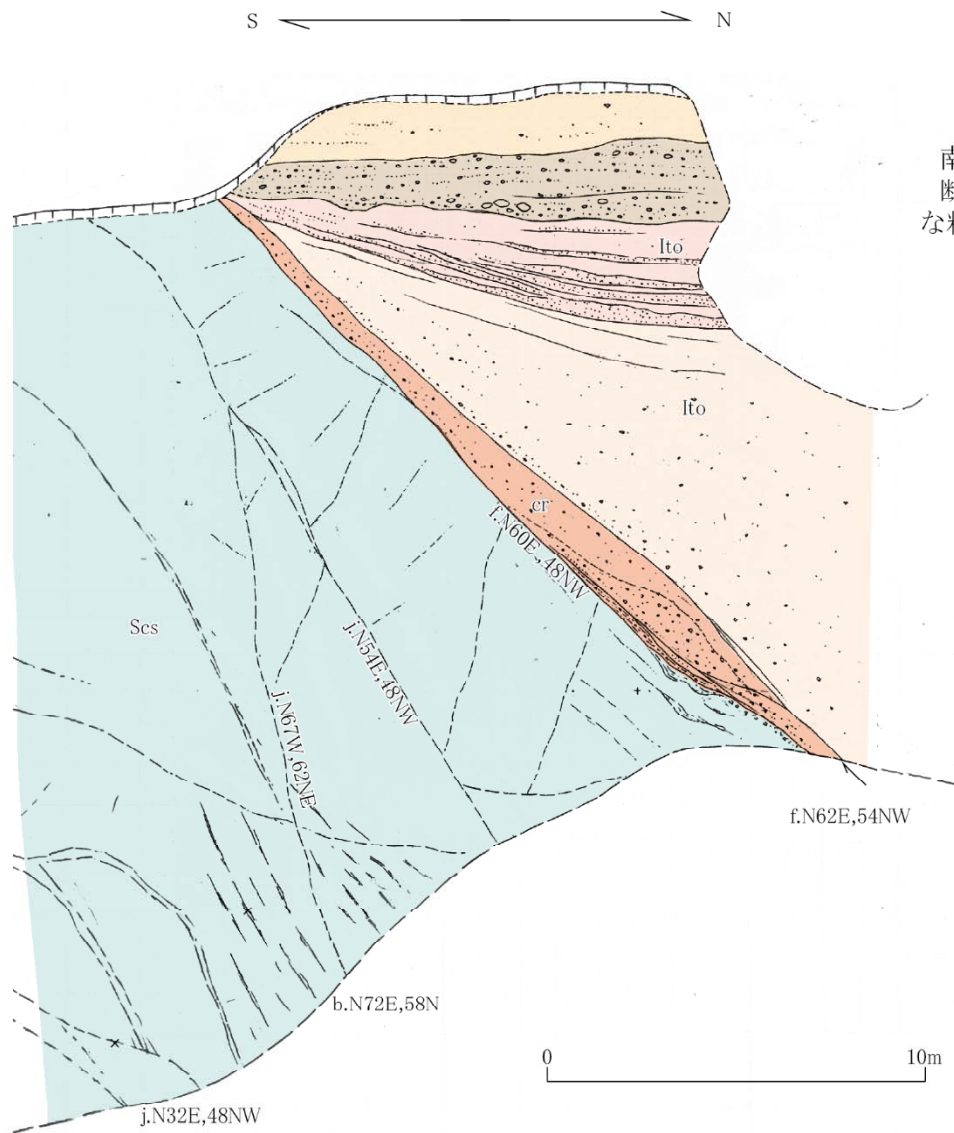
1.2-564



四万十層群中の幅 1m 以上の粘土破碎部に認められる断層。
断層面は平面的であり，連続も良い。

- 凡例
- 茶褐色土壌
 - 褐色土壌
 - シルト質砂層
 - 礫層
 - 貫入岩
 - 含角礫粘土破碎部
 - 砂岩・頁岩
- } 四万十層群
- f.N86E,76N 断層面の走向・傾斜

第1.2-103図(1) 露頭スケッチ (Loc.Iz-1, 出水市内木場)



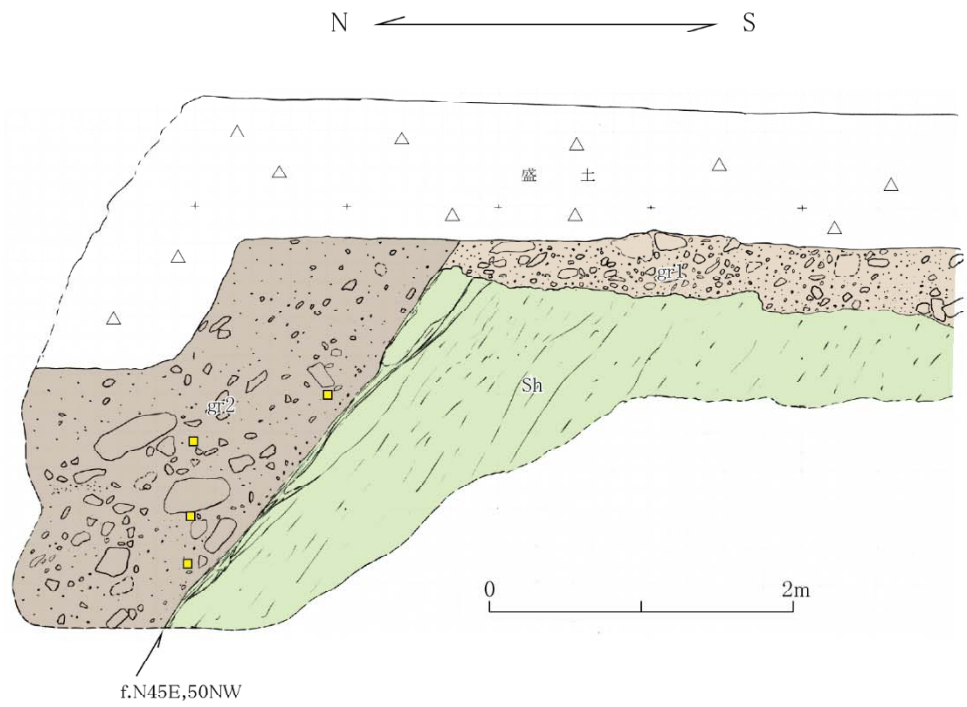
南側の四万十層群と北側の入戸火砕流堆積物とを境する正断層。
断層面は平面的であり、面に沿って幅数 10cm ~ 1.5m 程度の軟質
な粘土破碎部が認められる。

凡例





- 茶褐色土壌
- ローム質砂層
- 河成礫層
- 入戸火砕流堆積物 (二次堆積)
- 入戸火砕流堆積物
- 石灰質砂岩・含礫頁岩 } 四万十層群
- 茶褐色礫混じり粘土破碎部

- f.N62E,54NW 断層面の走向・傾斜
- b.N72E,58N 層理面の走向・傾斜
- j.N54E,48NW 節理面の走向・傾斜

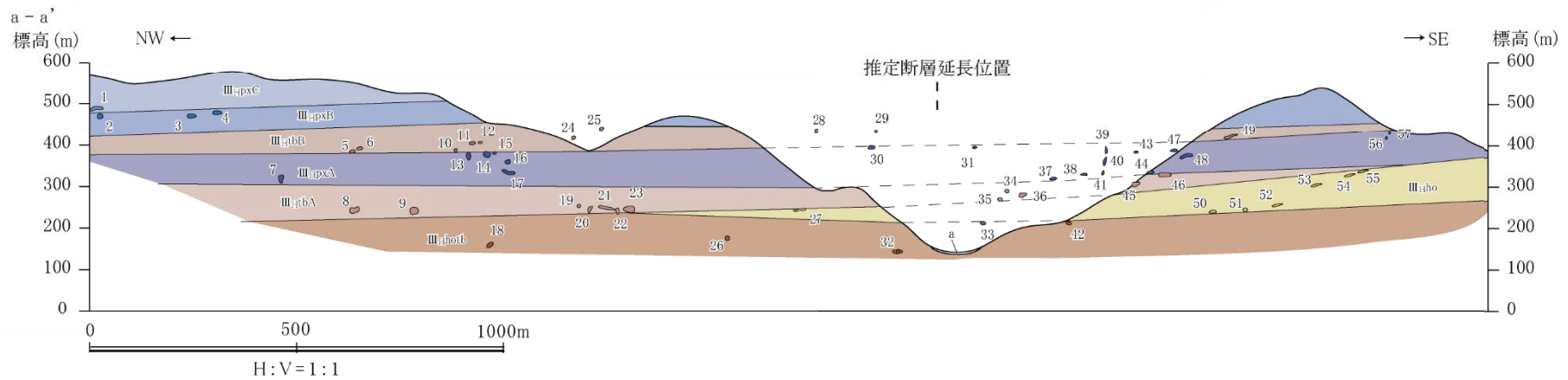
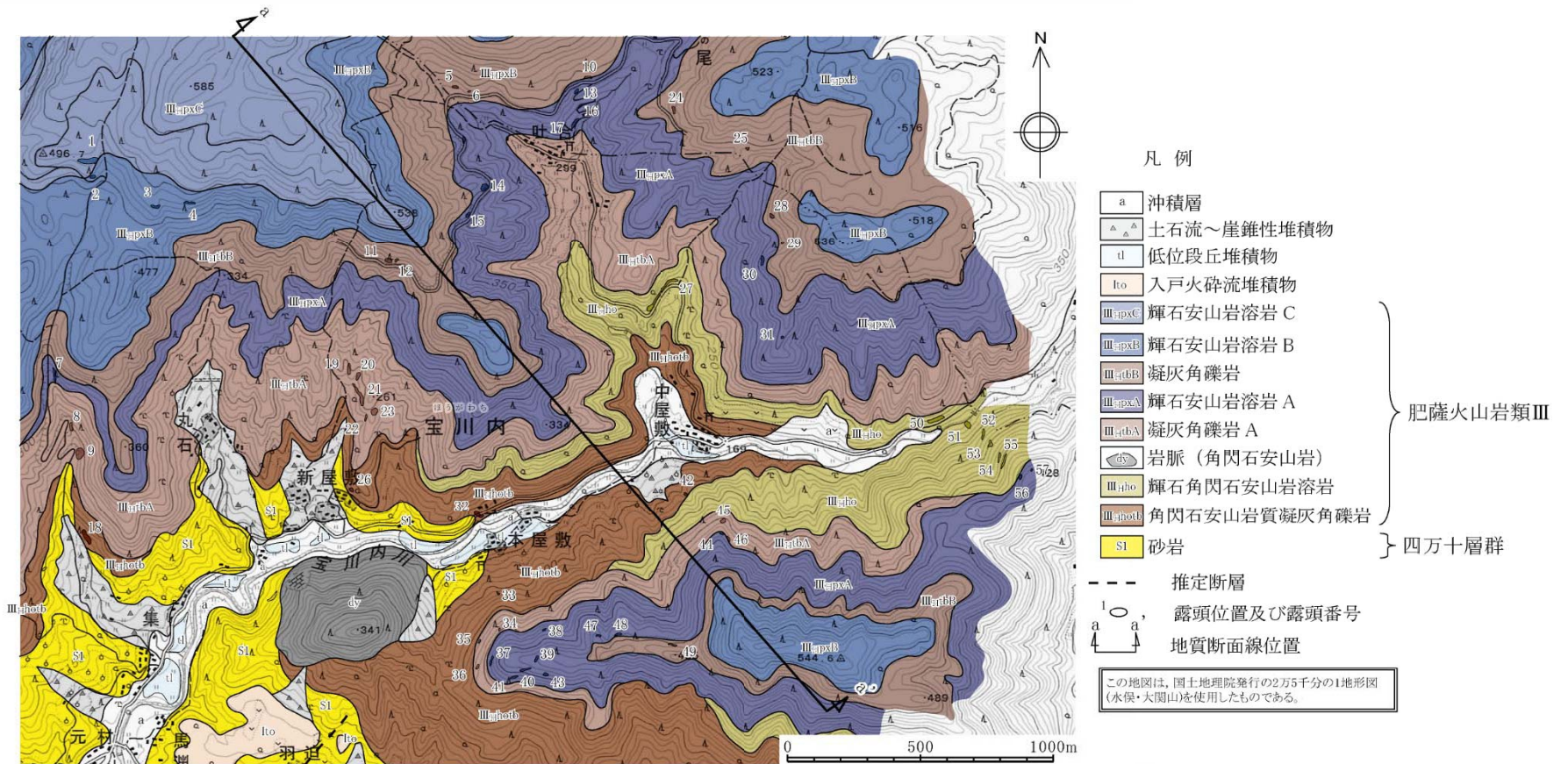
第1.2-103図(2) 露頭スケッチ (Loc.Iz-2, 出水市鍋野川左岸)



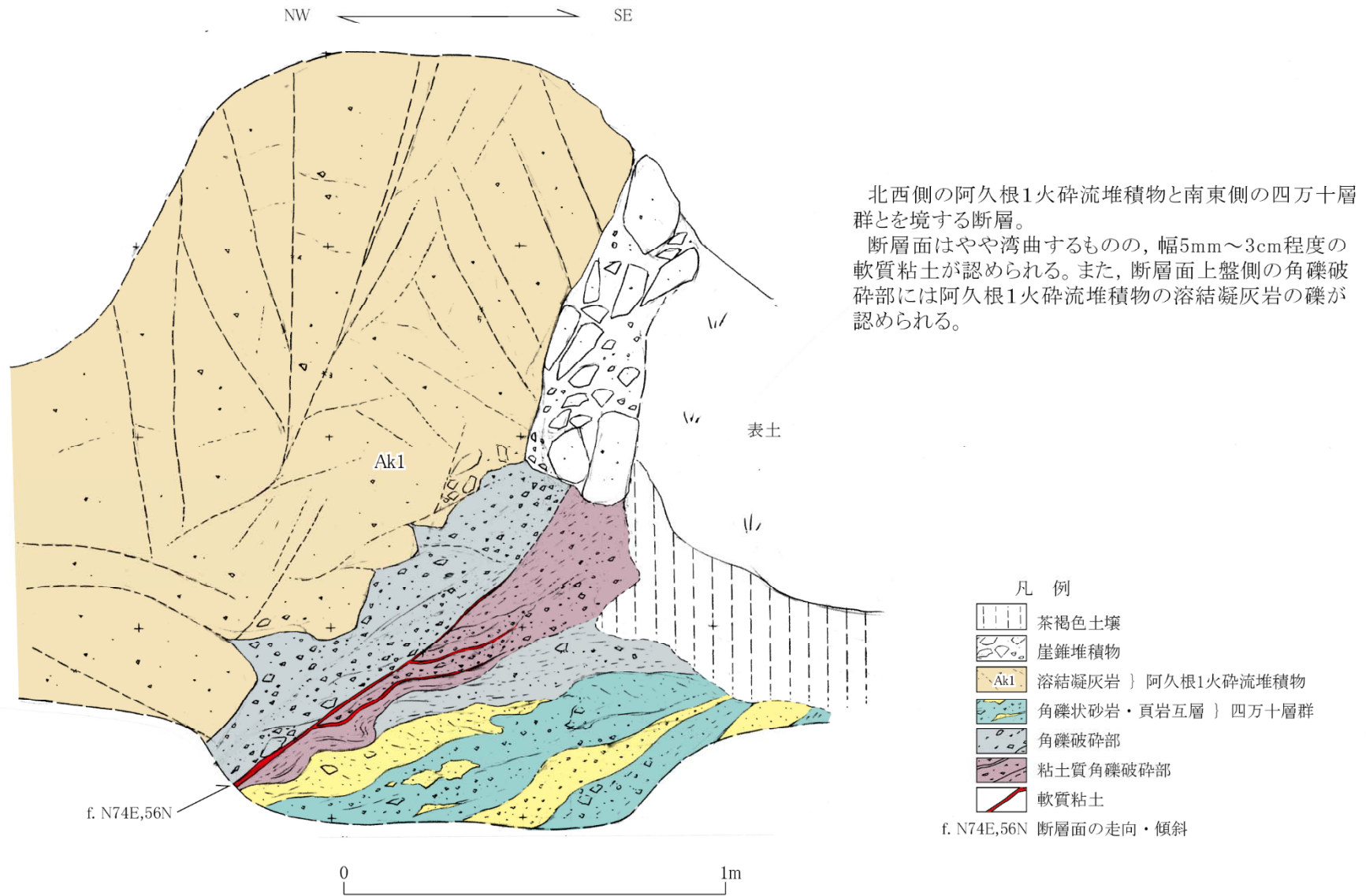
北側の暗褐色礫層と南側の四万十層群とを境する正断層。
断層面は平滑であるが、破碎部は認められない。断層面上盤側の暗褐色礫層には入戸火砕流堆積物起源の火山ガラスが認められる。

- 凡例
-  暗褐色礫層
 -  黄褐色礫層
 -  頁岩 } 四万十層群
 -  入戸火砕流堆積物起源の火山ガラス検出地点
- f.N45E,50NW 断層面の走向・傾斜

第1.2-103図(3) 露頭スケッチ (Loc.Iz-3, 出水市日添)



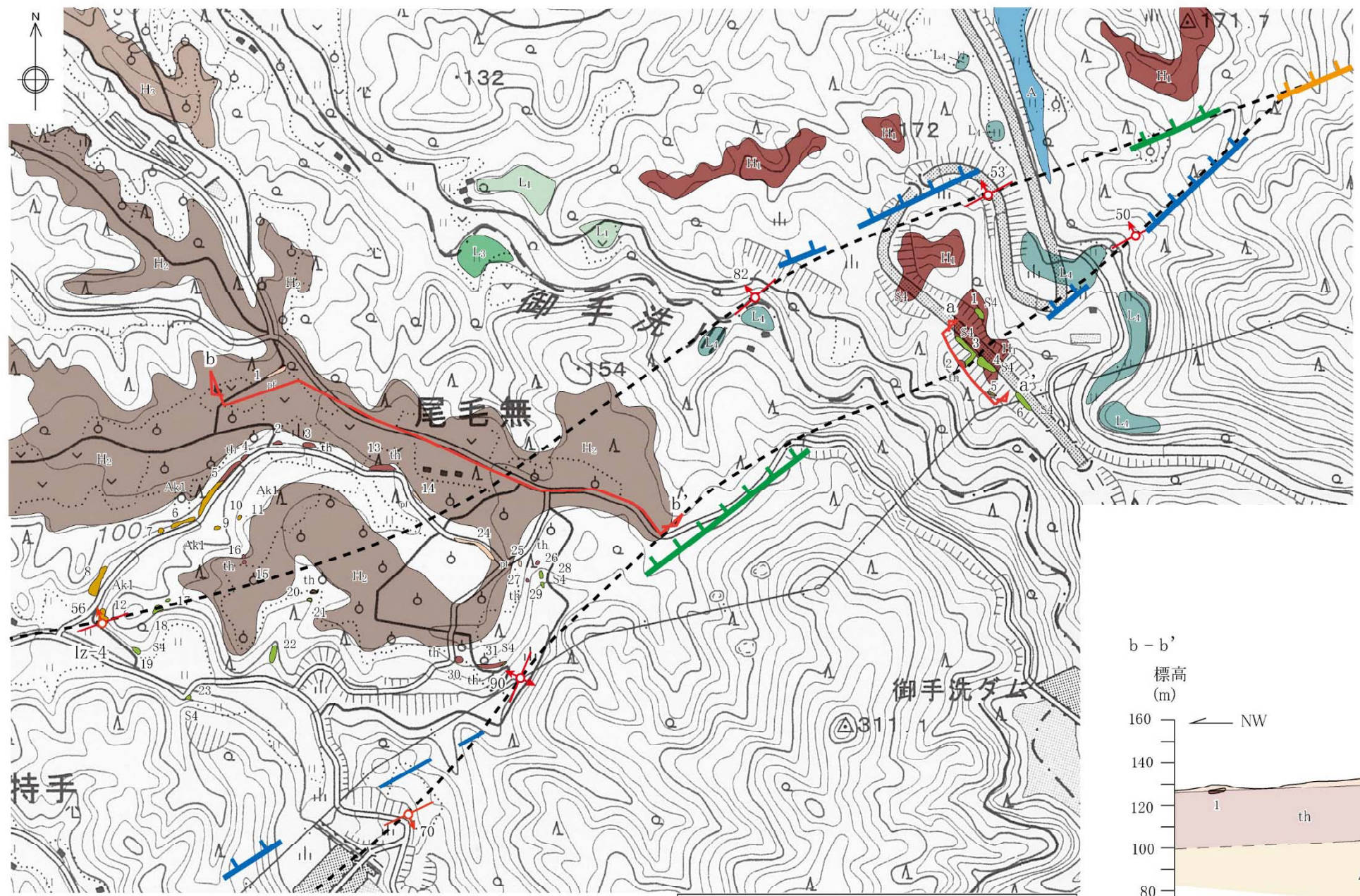
第1.2-104図 ルートマップ・地質断面図 (熊本県水俣市宝川内付近)



北西側の阿久根1火砕流堆積物と南東側の四万十層群とを境する断層。

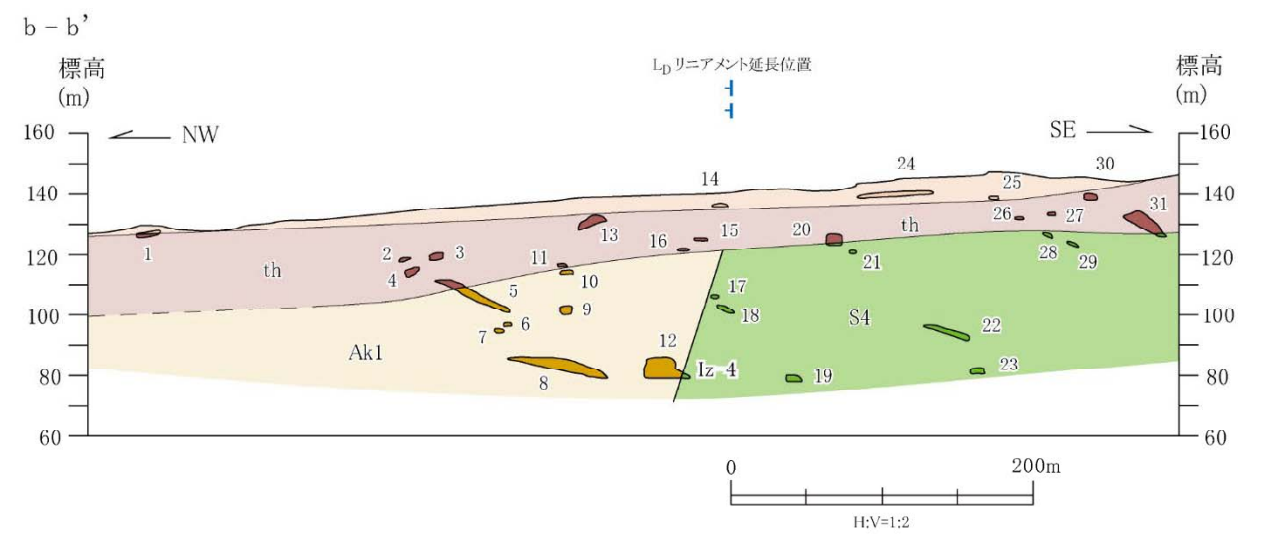
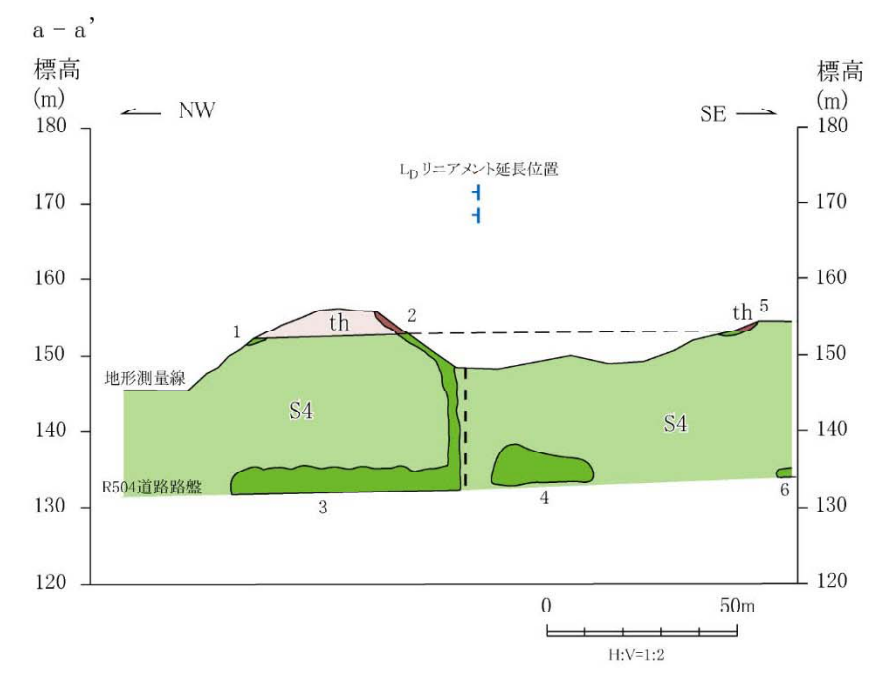
断層面はやや湾曲するものの、幅5mm~3cm程度の軟質粘土が認められる。また、断層面上盤側の角礫破碎部には阿久根1火砕流堆積物の溶結凝灰岩の礫が認められる。

第1.2-105図 露頭スケッチ (Loc.Iz-4, 出水市野田町上特手)



この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(出水)を使用したものである。

- | | |
|--|--|
| <p>地形面凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> A面 L₄面 L₃面 L₁面 H₃面 H₂面 H₁面 <p>リニアメント凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> L_Bリニアメント L_Cリニアメント L_Dリニアメント <p>(短線は低下側を、短線のないものは両側で高度差がないものを示す。)</p> | <p>露頭凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 火砕流堆積物 高位段丘堆積物 阿久根1火砕流堆積物 暗緑色玄武岩 頁岩 砂岩 <p>四万十層群</p> <ul style="list-style-type: none"> 断層(推定・伏在を含む) 断層面の走向・傾斜 露頭位置及び露頭番号 地形測量線 |
|--|--|



第1.2-106図 ルートマップ及び地形・地質断面図(出水市尾毛無付近)